

平成 29 年度労災疾病臨床研究事業費補助金
「過労死等の実態解明と防止対策に関する総合的な労働安全衛生研究」
分担研究報告書（事案解析）

脳・心臓疾患及び精神障害の労災請求事案の実態に関する研究

研究分担者 佐々木毅 独立行政法人労働者健康安全機構労働安全衛生総合研究所
過労死等調査研究センター・上席研究員

【研究要旨】

本研究では、過去約 5 年間のわが国における脳・心臓疾患及び精神障害で労災請求され支給・不支給決定された事案（「業務上」及び「業務外」事案）についてデータベース化された情報から、これまで包括的な報告がなかった労災請求事案の実態を把握することを目的とした。平成 22 年 1 月から平成 27 年 3 月までの脳・心臓疾患と精神障害の労災請求事案について、全国の労働局及び労働基準監督署より収集された関連情報から構築されたデータベースを解析した。データベース化されたのは脳・心臓疾患事案 3,525 件（業務上 1,564 件・業務外 1,961 件）及び精神障害事案のうち平成 23 年 12 月策定の「心理的負荷による精神障害の認定基準」に基づいて業務上外が決定された 3,543 件（業務上 1,369 件・業務外 2,174 件）であった。脳・心臓疾患については、男性が約 9 割、発症時年齢は 50～59 歳で 1/3 超、決定時疾患の約 3 割が脳内出血で最も多く、くも膜下出血、心筋梗塞、脳梗塞、心停止、解離性大動脈瘤と併せた 6 疾患で 96%超であった。健康診断を受診している者では脳内出血及び脳梗塞の発症割合が低く、既往歴、不規則勤務又は拘束時間の長い勤務が有ると心筋梗塞の発症割合が高かった。精神障害については、男性が 6 割超、特に自殺事案では 9 割超が男性、発症年齢別では男女とも 30～39 歳及び 40～49 歳がほぼ同数で最も多かったものの自殺事案において男性は 40 歳未満で半数近くを女性は 29 歳以下が半数以上、疾患については生存事案において男性は「神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害（F4）」と「気分[感情]障害（F3）」が同程度の割合、女性は F4 の割合が高く、男女ともに F3 と F4 で 95%超を占め、自殺事案においては男女ともに F3 の割合が高かった。男女とも最も多かった出来事は「上司とのトラブル」であったが、概ね長時間労働関連の出来事と複合的に認められた。以上から、脳・心臓疾患の発症は、長時間労働対策とともに健康管理や労働負荷に着目した対策により低減できる可能性があること、精神障害の発症を予防するには長時間労働対策と並行的に対人関係やメンタルヘルス対策等を実施する必要があることが示唆された。

研究分担者：

山内貴史（労働安全衛生総合研究所過労死等調査研究センター・客員研究員）
松元 俊（同センター・研究員）
吉川 徹（同センター・センター長代理）
菅知絵美（同センター・研究員）
高田琢弘（同センター・研究員）
竹島 正（川崎市精神保健福祉センター・所長）
茅嶋康太郎（労働安全衛生総合研究所過労死等調査研究センター・フェロー研究員）
梅崎重夫（労働安全衛生総合研究所・総括領域長）
高橋正也（労働安全衛生総合研究所産業疫学研究グループ・部長）

A. 研究目的

過労死等調査研究センターでは、平成 22 年 1 月から平成 27 年 3 月までの脳・心臓疾患と精神障害の労災請求事案のうち、平成 27 年度は業務上と決定された事案、平成 28 年度は業務外と決定された事案の労災復命書等の収集を行い、その情報をデータベース化した後に解析し、その実態について報告した。

そして、本研究平成 28 年度分担研究報告書（p74～90）では“今後、業務上・外を包括した労災請求事案全体を解析する観点からのより詳細な実態分析が必要である”と業務上・外の包括的解析を次の課題とした。これは、労災請求事案は認定基準に照らし合わせて判断さ

れ労災保険給付の支給・不支給が決定されるが、請求者が過重な仕事の原因で発症した脳・心臓疾患又は仕事による強いストレスなどが原因で発病した精神障害であるとして業務上疾病として労災請求した事案であること、すなわち業務起因性が認められた／認められないにかかわらず過労死等関連疾患を発症していると考えられる事案であること、また、「過労死等の労災補償状況」において、労災請求事案の詳細について報告されていないことを勘案している。

そこで本研究では、過去約5年間の脳・心臓疾患及び精神障害の労災支給・不支給決定事案（以下、「業務上外事案」という。）についてデータベース化された情報を解析し、その実態を把握するとともに有用な過重労働対策を見出すことを目的とした。

B. 研究方法

1. 分析対象

平成22年1月から平成27年3月の業務上外事案について、平成27年度に業務上事案、平成28年度に業務外事案について全国の労働局及び労働基準監督署から調査復命書等を過労死等調査研究センターに収集しデータベースを構築した。それらから、脳・心臓疾患事案3,525件（業務上1,564件・業務外1,961件）及び精神障害事案のうち平成23年12月策定の「心理的負荷による精神障害の認定基準」（以下、「認定基準」という。）に基づいて業務上外が決定された3,543件（業務上1,369件・業務外2,174件）のデータベースを新たに構築し分析対象とした。

2. 分析方法

性・年齢（請求時、発症時、死亡時）、業種・職種、疾患名、前駆症状、労務管理・健康管理の状況、出来事（特別な出来事、恒常的な長時間労働、具体的出来事）などの情報に関する基本集計とクロス集計を行った。脳・心臓疾患事案では、健康管理の状況及び労働負荷と疾患とのクロス集計ではカイ2乗検定を行い、有意水準5%未満を統計学的有意差有りとした。

3. 倫理面での配慮

本研究は、労働安全衛生総合研究所研究倫理審査委員会にて審査され、承認を得たうえで行った（通知番号：H2708及びH2743）。本研究で用いたデータベースには、氏名、住所、電話番号等、個人を特定できる情報は一切含まれていない。

C. 研究結果

1. 脳・心臓疾患事案

1-1) 性別・年齢・疾患（表1-1）

業務上外事案3,525件のうち、3,164件（89.8%）が男性、361件（10.2%）が女性であった。

年齢別では、発症時年齢が男性は50～59歳、女性は60～69歳が最も多く、40歳以上が男女とも86.2%であった。

決定時疾患は、業務外事案で複数記載されている事案があり、すべてを数値に含んだ。男女あわせて、脳内出血が最も多く（30.1%）、くも膜下出血（16.8%）、心筋梗塞（16.1%）、脳梗塞（14.5%）、心停止（13.8%）、解離性大動脈瘤（5.0%）と続き、これら6疾患で全体の96%超を占めた。女性では8割超が脳疾患であった。

前駆症状ありであったのは全体の2割未満で、男性（18.0%）、女性（16.6%）とほぼ同様であった。

1-2) 業種・職種（表1-2）

業種別の事案数は、全体では運輸業・郵便業（22.0%）が最も多く、次に卸売業・小売業（15.1%）、建設業（13.6%）と続いた。男性では、運輸業・郵便業（23.9%）、建設業（15.0%）、卸売業・小売業（14.4%）、製造業（13.8%）、サービス業（他に分類されないもの）（10.1%）の5業種で3/4超を占めた。女性では、医療・福祉（23.0%）、卸売業・小売業（21.3%）、宿泊業・飲食サービス業（13.2%）、サービス業（他に分類されないもの）（12.6%）、製造業（9.6%）の5業種で8割近くを占めた。

職種別では、男性では輸送・機械運転従事者（21.2%）が最も多く、次に専門的・技術的職業従事者（13.1%）、販売従事者（10.2%）と続き、女性ではサービス職業従事者（33.4%）が1/3を占め、販売従事者（15.7%）、事務従事者（15.2%）と続いた。

1-3) 就業規則・健康管理（表1-3）

全体では健康診断は70%弱が受診しており、面接指導は1.9%で実施され、既往歴は43.1%に見られた。

1-4) 年齢、業種、職種と決定時6疾患（表1-4-1～表1-4-3）

全体では脳内出血、脳梗塞、心筋梗塞、解離性大動脈瘤は50～59歳、くも膜下出血、心停止は40～49歳がそれぞれ最も多かった。

全体のほぼ全ての業種において、脳内出血が1/4超を占め最も多かったものの、情報通信業では心停止も同程度多かった(25.3%)。それ以外では漁業では脳梗塞、心筋梗塞が多く、公務では心筋梗塞が多かった。職種別では、運輸・通信従事者、生産工程・労務作業(Ⅰ-2)以外はすべて脳内出血が最も多かった。

男性ではほとんどの業種において脳内出血が最も多かったものの、情報通信業、医療・福祉では心停止が最も多かった。それに対して、女性は半数近くの業種でくも膜下出血が最も多かった。

1-5) 健康管理の状況と決定時6疾患(表1-5-1~表1-5-3)

健康管理(健康診断、面接指導、既往歴)の状況(あり/なし)によって疾患の発症に特徴があるのかを全年代の他、40代以下、50代、60代以上に分けてクロス集計した。

健康診断を受診していると脳内出血(健診なし群:35.9%、健診あり群:29.1%、 $p<0.001$)と脳梗塞(健診なし群:17.0%、健診あり群:13.8%、 $p=0.033$)の発症割合が統計的に有意に低く、特に脳出血では60代以上で顕著であった(健診なし群:38.1%、健診あり群:28.3%、 $p=0.005$)。一方、くも膜下出血(健診なし群:12.7%、健診あり群:18.3%、 $p<0.001$)、心停止(健診なし群:11.8%、健診あり群:14.8%、 $p=0.042$)では健康診断を受診している者の発症割合が高かった。

面接指導の実施と疾患との間に統計的に有意な関連は認められなかった。

既往歴があると心筋梗塞の発症が多いことに統計的に有意差が認められた(既往なし群:14.5%、既往あり群:18.1%、 $p=0.007$)。また、40代以下では脳内出血(既往なし群:23.8%、既往あり群:32.1%、 $p=0.001$)、50代では解離性大動脈瘤(既往なし群:4.0%、既往あり群:7.4%、 $p=0.024$)で同様の傾向であった。一方、くも膜下出血では既往歴がなくても発症割合が高く(既往なし群:21.3%、既往あり群:12.2%、 $p<0.001$)、これは40代以下、50代、60代以上でも同様の傾向であった。また、40代以下の脳梗塞でも同様の傾向が認められた(既往なし群:12.6%、既往あり群:8.9%、 $p=0.036$)。

1-6) 労働負荷と決定時6疾患(表1-6)

発症前6か月の労働負荷(不規則勤務、拘束時間の長い勤務、出張が多い業務、交代・深夜勤務、作業環境、精神的緊張)の有無と疾患の発症の関連についてクロス集計した。

心筋梗塞と不規則勤務(なし群:15.5%、あり群:22.6%、 $p=0.002$)及び拘束時間の長い勤務(なし群:15.3%、あり群:19.7%、 $p=0.006$)の関連について統計的に有意差が認められた。

2. 精神障害事案

2-1) 性・年齢(表2-1)

業務上外事案3,543件のうち、2,247件(63.4%)は男性であった。自殺事案は518件であったが、うち479件(92.5%)が男性であった。

年齢別では、男女を問わず発症年齢は30~39歳及び40~49歳が多かった。自殺事案では男性は40~49歳が最も多いが、29歳以下と30~39歳を合わせた40歳未満が半数近く(48.2%)を、女性は29歳以下が半数以上(51.3%)を占めた。

2-2) 業種(表2-2)

業種別の事案数は製造業、特に男性で多く、以下、卸売業・小売業、医療・福祉、運輸業・郵便業、サービス業(他に分類されないもの)と続いた。女性では医療・福祉で3割近くを占めた。

2-3) 疾患名(表2-3-1、表2-3-2)

性・生存死亡別の疾患名について、生存事案では「神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害(F4)」(男性:49.0%、女性:67.2%)、特に「適応障害(F43.2)」(男性:26.6%、女性:32.0%)、続いて「心的外傷後ストレス障害(PTSD)(F43.1)」(男性:6.3%、女性:8.8%)が多く、この傾向は女性で顕著であり、男性では「気分[感情]障害(F3)」(46.9%)もF4と同程度の割合であり、男女ともF3とF4で95%超を占めた。死亡(自殺事案)では男女を問わずF3(男性:75.3%、女性:61.5%)、特に「うつ病エピソード(F32)」(男性:61.1%、女性:48.7%)が多かった。一方、請求時年齢別では、男女別の疾患の分布に顕著な差は見られなかった。

2-4) 出来事(表2-4-1、表2-4-2)

生存事案において最も多かった出来事は男女とも「30.上司とのトラブル」(男性:31.1%、女性:34.6%)、死亡(自殺事案)では男性では「15.仕事内容・仕事量の(大きな)変化を生じさせる出来事」(27.7%)、女性では「30.上司とのトラブル」(41.0%)であった。また、男女とも「29.(ひどい)嫌がらせ、いじめ、又は暴行」、女性では「31.同僚とのトラブル」など、他の対人関係の出来事も多かった。一方、

請求時年齢別では、男女の出来事の分布に顕著な差は見られなかった。

2-5) 出来事のタイプと疾患名 (表 2-5)

出来事を以下の3つのタイプに分け(本研究平成28年度分担研究報告書、p23~35)、疾患別に関連を分析した。

- ・長時間労働関連の出来事(「認定基準」における「極度の長時間労働」、「恒常的長時間労働」、具体的出来事としての「15. 仕事内容・仕事量の(大きな)変化を生じさせる出来事」又は「16. 1か月に80時間以上の時間外労働」のいずれかの出来事)、
- ・事故・災害関連の出来事(「認定基準」における「心理的負荷が極度のもの」、具体的出来事としての「1. (重度の)病気やケガ」又は「2. 悲惨な事故や災害の体験」のいずれかの出来事)、
- ・対人関係関連の出来事(具体的出来事としての「29. (ひどい)嫌がらせ、いじめ、暴行」、又は「36. セクシュアルハラスメント」のいずれかの出来事)。

全事案の「気分[感情]障害(F3)」で最も多いのは長時間労働関連(44.8%)で、F3の3/4以上を占める「うつ病エピソード(F32)」でも同様であった。「神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害(F4)」では事故・災害関連(32.4%)、対人関係関連(22.7%)が長時間労働関連(21.2%)より僅かに多く、下位分類の「適応障害(F43.2)」では対人関係関連(27.1%)、「心的外傷後ストレス障害(PTSD)(F43.1)」では事故・災害関連(86.5%)が最も多かった。

自殺事案では、長時間労働関連が「気分[感情]障害(F3)」(59.8%)と「うつ病エピソード(F32)」(61.0%)では半数以上を占め、「神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害(F4)」(31.7%)と「適応障害(F43.2)」(31.9%)でも1/3程度を占めた。

F3とF4を合わせると疾患の94.6%[(1,581+1,770)/3,543]を占めるが、長時間労働関連の出来事の割合は全事案で32.4%[(709+376)/(1,581+1,770)]、自殺事案では56.1%[(231+19)/(386+60)]を占めた。

2-6) 出来事/長時間労働関連の出来事と疾患名 (表 2-6-1~表 2-6-4)

疾患と出来事との関連、更に、出来事とともに長時間労働関連の出来事が認められた事案数について分析した。

全事案において長時間労働関連の出来事が

占める割合は「気分[感情]障害(F3)」では出来事の類型①「事故や災害の体験」では2割未満であるものの「28. 非正規社員である自分の契約満了が迫った」など幾つかの具体的出来事を除けば概ね3割~6割超、その下位分類の「うつ病エピソード(F32)」でも同様の傾向、「神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害(F4)」でも類型①が1割未満で、「27. 早期退職制度の対象となった」などを除いた具体的出来事では概ね2割~5割程度、その下位分類の「適応障害(F43.2)」でも同様の傾向であった。「心的外傷後ストレス障害(PTSD)(F43.1)」では概ね「心理的負荷が極度のもの」と出来事の類型①で占められていた。

自殺事案では、F3では概ね全事案と同様な傾向であったものの、F4は事案数が少なく全事案とは異なる傾向であった。

D. 考察

本研究では、過去約5年間の脳・心臓疾患及び精神障害の業務上外事案の実態を概観した。以下、脳・心臓疾患事案、精神障害事案とも本研究の結果について考察する。

1. 脳・心臓疾患事案

脳・心臓疾患の業務上外事案を包括した請求者のプロフィールは、男性が約9割、発症時年齢は50~59歳で1/3超、決定時疾患の約3割が脳内出血で最も多く、くも膜下出血、心筋梗塞、脳梗塞、心停止、解離性大動脈瘤と併せた6疾患で96%超であった。女性では8割超が脳血管疾患で、男性に比してくも膜下出血の割合が多いのが特徴であった。また、業種・職種別の疾患では、男性では脳内出血が最も多い業種・職種が多数を占めるのに対し、女性は脳内出血に加え、くも膜下出血も多くの業種・職種で多数を占めた。

健康管理の状況と疾患において、健康診断を受診している者では脳内出血及び脳梗塞では発症割合が低かったことから、現行の健康診断を受診することによって発症予防の効果があると推測される。例えば、脳内出血のリスク要因では高血圧が挙げられるが、健康診断を通じての血圧管理がうまくなされていたことが脳内出血の発症が少なくなった一因であるとも考えられ、特に60代以上では健康診断の受診がないと発症が4割弱であったのに対し、受診していると3割未満に低減されているように影響が大きく、血圧管理をより充実させることによって更に発症率を抑えることが出来る可能性があると考えられる。一方、くも膜下出血

や心停止は現行の健康診断の受診だけでは、発症予防の効果は認められず、健康診断の内容にその病因に関連した項目を盛り込む等の対策が必要であるかもしれない。面接指導については、元々の目的が過重労働対策の一環で疲労蓄積に焦点を当てたものであることから、その有無による発症への影響は少ないと考えられたが、本データでは面接指導の実施は 2%に満たないため、実施率を上げることが課題であると考えられる。既往歴については、40 代以下の脳内出血、心筋梗塞、50 代の解離性大動脈瘤において既往歴があるとそれらの発症が高かった。具体的な既往の病名や症状について集計されていないものの、それらを精査することによって、発症予防に役立てられる可能性があると考えられる。

労働負荷と疾患において、不規則勤務又は拘束時間の長い勤務があると心筋梗塞の発症割合が高かった。心筋梗塞は既往歴との関連も認められていることからその複合的な影響についても考慮する必要があり、よって発症機序について推測することは難しいことから今後検討すべき課題であるが、発症予防には健康管理と並行してそれらの労働負荷について考慮すべきであると考えられる。

2. 精神障害事案

精神障害の業務上外事案を包括した請求者では男性が 6 割超、特に自殺事案では 9 割超が男性、発症年齢別では男女とも 30~39 歳及び 40~49 歳がほぼ同数で最も多かったものの自殺事案では男性は 40 歳未満で半数近くを、女性は 29 歳以下が半数以上と、若年層の自殺事案が多いことがうかがえた。業種別では、雇用者総数の多い製造業、卸売業・小売業、医療・福祉などで事案数が多く、女性で医療・福祉の事案数が顕著に多いことが特徴的であった。疾患別では、生存事案において男性では「神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害 (F4)」が「気分[感情]障害 (F3)」より僅かながら高いものの同程度の割合、女性では F4 の割合が高く、男女ともに F3 と F4 で 95%超を占めた。自殺事案においては男女ともに F3 の割合が高かった。

生存事案において最も多かった出来事は男女とも「30. 上司とのトラブル」でともに 3 割以上の事案に認められ、また、自殺事案では女性は 4 割以上の事案に該当した。なお、トラブル内容については個々の事案を詳細に検討する必要があるが、「認定基準」において、この出来事単独では心理的負荷が「強」と判断され

ず労災の認定要件を満たさないことから、他の出来事も同時に、つまり複数の出来事が該当していると考えられる。

疾患別に比較することにより長時間労働関連とそれ以外の出来事の影響の度合いが明確になったように思われる。全事案では出来事のタイプとして長時間労働関連の出来事は F3 と F4 を併せると約 3 割に該当した。毎年発表される「過労死等の労災補償状況」から業務上と決定された精神障害事案で月時間外 80 時間以上は 4 割程度（平成 27 年度：40.7%、平成 28 年度：36.3%）と算出され若干低値であるが、本データベースには業務外事案も含まれており、業務外事案にも少なからず長時間労働関連の出来事が含まれていることが一因であると考えられる。また、自殺事案では長時間労働関連の出来事が 6 割近くを占めていることは長時間労働対策の重要性を示している。

出来事の類型①「事故や災害の体験」と幾つかの出来事を除けば、概ね具体的出来事とともに長時間労働関連の出来事が認められた。これは長時間労働とその他出来事が多層的に起こっており、長時間労働対策を大きな柱としながらも並行的に対人関係やメンタルヘルス対策等を実施する必要があることを示唆していると考えられる。

本研究は、これまで詳細が報告されていなかった労災支給・不支給決定事案の実態に関する初めての報告である。なお、収集された事案については、研究仮説を立ててから収集する調査研究のためのデータと異なり、業務上外を決定するための事項を優先的に記載されているであろうという特性があること、また、特に精神障害事案については事案の収集対象期間中の平成 23 年 12 月に策定された認定基準で長時間労働を考慮するウェイトが増えたといった事情があり、それらは研究としての限界として挙げられる。そこで今後、さらに労災請求事案を収集し、本研究で見出された結果の再現性や各々の事項の経時的変化について検討することが必要と考えられる。

E. 結論

本研究では、過去約 5 年間の脳・心臓疾患及び精神障害の業務上外事案についてのデータベースから、これまで詳細が報告されていなかった脳・心臓疾患及び精神障害の労災請求事案の実態を初めて報告した。脳・心臓疾患の発症は、長時間労働対策とともに健康管理や労働負荷に着目した対策により低減できる可能性が

あること、精神障害の発症を予防するには長時間労働対策と並行的に対人関係やメンタルヘルス対策等を実施する必要があることが示唆された。

F. 健康危険情報

なし

G. 研究発表

1. 論文発表

- 1) Yamauchi T, Sasaki T, Yoshikawa T, Matsumoto S, Takahashi M, Suka M, Yanagisawa H. Differences in work-related adverse events by sex and industry in cases involving compensation for mental disorders and suicide in Japan from 2010 to 2014. J Occup Environ Med, (in press)
- 2) Yamauchi T, Yoshikawa T, Takamoto M, Sasaki T, Matsumoto S, Kayashima K, Takeshima T, Takahashi M. Overwork-related disorders in Japan: recent trends and development of a national policy to promote preventive measures. Ind Health. 2017; 55(4): 293-302.

2. 学会発表

- 1) 山内貴史, 佐々木毅, 松元俊, 吉川徹, 須賀万智, 柳澤裕之, 高橋正也 (2018) わが国の業種・年齢別に見た精神障害の労災認定の発生率: 2010年以降の労災認定事案データベースを用いて. 第28回日本疫学会学術総会, 福島.
- 2) Yamauchi T, Yoshikawa T, Takahashi M (2017) P3-77 Characteristics of overwork-related mental disorders and suicide among compensated cases of young employees in Japan since 2010. The 21st World Congress of Epidemiology, abstract book, p109.
- 3) Yamauchi T, Sasaki T, Matsumoto S, Yoshikawa T, Takahashi M (2017) Overwork-related mental disorders and suicide in Japan: recent trend and national prevention policy. In Symposium "Working time and health". The 27th Japan/Korea/China Conference on Occupational Health, Book of Abstract, p29.
- 4) Yoshikawa T, Sasaki T, Yamauchi T,

Matsumoto S, Takahashi M (2017) Characteristics of 1,564 compensated cases for overwork-related cerebrovascular/ cardiovascular diseases (CCVDs) in Japan: Fiscal 2010-2014. In Symposium "Working time and health". The 27th Japan/Korea/China Conference on Occupational Health, Book of Abstract, p31.

- 5) 吉川徹, 茅嶋康太郎, 佐々木毅, 松元俊, 山内貴史, 久保智英, 劉欣欣, 松尾知明, 池田大樹, 蘇リナ, 高橋正也 (2017) 我が国における2010-2015年の脳・心臓疾患の労災認定事案のデータベース開発と分析. 第90回日本産業衛生学会, 産業衛生学雑誌, 59(Suppl.), p345.
- 6) 山内貴史, 茅嶋康太郎, 吉川徹, 高橋正也, 佐々木毅, 久保智英, 劉欣欣, 松尾知明, 池田大樹, 蘇リナ, 松元俊 (2017) 2010年以降のわが国における精神障害の労災認定事案の分析. 第90回日本産業衛生学会, 産業衛生学雑誌, 59(臨時増刊号), p327.
- 7) 吉川徹, 高橋正也, 茅嶋康太郎, 佐々木毅, 松元俊, 山内貴史 (2017) 東日本大震災に関連した脳血管・心臓血管疾患の労災認定事案に関する分析. 第27回日本産業衛生学会全国協議会講演集, p168.
- 8) 松元俊, 吉川徹, 佐々木毅, 高橋正也 (2017) 我が国における脳・心臓疾患の過労死事案の業種別の発生率と負荷要因. 第27回日本産業衛生学会全国協議会講演集, p169.

H. 知的財産権の出願・登録状況(予定を含む。)

なし

表 1-1 請求時・発症時・死亡時年齢、決定時疾患名、前駆症状(業務上外、脳・心臓疾患)

	男性		女性		全体	
	N	(%)	N	(%)	N	(%)
性別	3164		361		3525	
	(89.8)		(10.2)		(100)	
請求時年齢(M, SD)	51.8	10.4	53.1	11.5	51.9	10.5
発症時年齢(M, SD)	51.3	10.4	52.7	11.6	51.4	10.6
19-29歳	79	(2.5)	14	(3.9)	93	(2.6)
30-39歳	362	(11.4)	36	(10.0)	398	(11.3)
40-49歳	891	(28.2)	80	(22.2)	971	(27.6)
50-59歳	1100	(34.8)	109	(30.3)	1209	(34.3)
60-69歳	638	(20.2)	110	(30.6)	748	(21.2)
70歳以上	94	(3.0)	11	(3.1)	105	(3.0)
合計	3164	(100)	360	(100)	3524	(100)
死亡時年齢(M, SD)	50.0	10.6	51.0	12.5	50.0	10.7
20-29歳	46	(3.6)	6	(6.4)	52	(3.8)
30-39歳	174	(13.5)	13	(13.8)	187	(13.5)
40-49歳	390	(30.2)	18	(19.1)	408	(29.5)
50-59歳	414	(32.1)	30	(31.9)	444	(32.1)
60-69歳	239	(18.5)	26	(27.7)	265	(19.1)
70歳以上	28	(2.2)	1	(1.1)	29	(2.1)
合計	1291	(100)	94	(100)	1385	(100)
決定時疾患名*						
脳内出血(脳出血)	935	(29.3)	134	(36.5)	1069	(30.1)
くも膜下出血	469	(14.7)	127	(34.6)	596	(16.8)
脳梗塞	475	(14.9)	39	(10.6)	514	(14.5)
心筋梗塞	560	(17.6)	12	(3.3)	572	(16.1)
心停止(心臓性突然死を含む。)	470	(14.7)	21	(5.7)	491	(13.8)
解離性大動脈瘤	163	(5.1)	15	(4.1)	178	(5.0)
高血圧性脳症	4	(0.1)	1	(0.3)	5	(0.1)
狭心症	60	(1.9)	7	(1.9)	67	(1.9)
上記対象8疾患以外	52	(1.6)	11	(3.0)	63	(1.8)
脳・心臓疾患の両方	9	(0.3)	3	(0.8)	12	(0.3)
合計**	3188	(100)	367	(100)	3555	(100)
*: 複数の疾患を含めて集計。 **: 脳・心臓疾患の両方を除く。						
前駆症状						
なし	2310	(73.0)	270	(74.8)	2580	(73.2)
あり	568	(18.0)	60	(16.6)	628	(17.8)
頭痛	215	(6.8)	37	(10.2)	252	(7.1)
胸部痛	100	(3.2)	4	(1.1)	104	(3.0)
その他	330	(10.4)	33	(9.1)	363	(10.3)
記載なし/不明	286	(9.0)	31	(8.6)	317	(9.0)
合計	3164	(100)	361	(100)	3525	(100)

表 1-2 業種(大分類)、職種(大分類) (業務上外、脳・心臓疾患)

	男性		女性		全体	
	N	(%)	N	(%)	N	(%)
業種(大分類)						
運輸業, 郵便業	752	(23.9)	18	(5.1)	770	(22.0)
卸売業・小売業	452	(14.4)	76	(21.3)	528	(15.1)
製造業	435	(13.8)	34	(9.6)	469	(13.4)
建設業	472	(15.0)	4	(1.1)	476	(13.6)
サービス業(他に分類されないもの)	319	(10.1)	45	(12.6)	364	(10.4)
宿泊業, 飲食サービス業	148	(4.7)	47	(13.2)	195	(5.6)
情報通信業	89	(2.8)	10	(2.8)	99	(2.8)
医療, 福祉	88	(2.8)	82	(23.0)	170	(4.9)
学術研究, 専門・技術サービス業	100	(3.2)	6	(1.7)	106	(3.0)
生活関連サービス業, 娯楽業	69	(2.2)	12	(3.4)	81	(2.3)
不動産業, 物品賃貸業	55	(1.7)	2	(0.6)	57	(1.6)
教育, 学習支援業	52	(1.7)	10	(2.8)	62	(1.8)
漁業	29	(0.9)	0	(0.0)	29	(0.8)
金融業・保険業	28	(0.9)	3	(0.8)	31	(0.9)
農業, 林業	27	(0.9)	1	(0.3)	28	(0.8)
複合サービス事業	17	(0.5)	3	(0.8)	20	(0.6)
電気・ガス・熱供給・水道業	7	(0.2)	1	(0.3)	8	(0.2)
公務(他に分類されるものを除く)	6	(0.2)	2	(0.6)	8	(0.2)
分類不能の産業	3	(0.1)	0	(0.0)	3	(0.1)
鉱業, 採石業, 砂利採取業	1	(0.0)	0	(0.0)	1	(0.0)
合計	3149	(100)	356	(100)	3505	(100)
職種(大分類)						
輸送・機械運転従事者	667	(21.2)	7	(2.0)	674	(19.2)
専門的・技術的職業従事者	414	(13.1)	51	(14.3)	465	(13.3)
販売従事者	320	(10.2)	56	(15.7)	376	(10.7)
サービス職業従事者	288	(9.1)	119	(33.4)	407	(11.6)
管理的職業従事者	254	(8.1)	8	(2.2)	262	(7.5)
事務従事者	296	(9.4)	54	(15.2)	350	(10.0)
生産工程従事者	224	(7.1)	27	(7.6)	251	(7.2)
建設・採掘従事者	313	(9.9)	2	(0.6)	315	(9.0)
保安職業従事者	120	(3.8)	2	(0.6)	122	(3.5)
運搬・清掃・包装等従事者	127	(4.0)	26	(7.3)	153	(4.4)
農林漁業従事者	54	(1.7)	1	(0.3)	55	(1.6)
運輸・通信従事者	40	(1.3)	0	(0.0)	40	(1.1)
生産工程・労務作業(1-1 製造・制作作業)	12	(0.4)	0	(0.0)	12	(0.3)
生産工程・労務作業(1-3 採掘・建設・労務作業)	17	(0.5)	3	(0.8)	20	(0.6)
生産工程・労務作業(1-2 定置機関運転・建設機械運転・電気作業)	2	(0.1)	0	(0.0)	2	(0.1)
分類不能の職業	1	(0.0)	0	(0.0)	1	(0.0)
合計	3149	(100)	356	(100)	3505	(100)

表 1-3 所定休日、出退勤の管理状況、就業規則等（業務上外、脳・心臓疾患）

	男性		女性		全体	
	N	(%)	N	(%)	N	(%)
所定休日						
週休1日制	671	(21.2)	59	(16.3)	730	(20.7)
隔週週休2日制	248	(7.8)	14	(3.9)	262	(7.4)
完全週休2日制	829	(26.2)	93	(25.8)	922	(26.2)
記載なし／不明	1416	(44.8)	195	(54.0)	1611	(45.7)
合計	3164	(100)	361	(100)	3525	(100)
出退勤の管理状況						
タイムカード	835	(26.4)	159	(44.0)	994	(28.2)
出勤簿	882	(27.9)	94	(26.0)	976	(27.7)
管理者による確認	576	(18.2)	61	(16.9)	637	(18.1)
本人の申告	729	(23.0)	54	(15.0)	783	(22.2)
就業規則						
なし	501	(15.8)	51	(14.1)	552	(15.7)
あり	2355	(74.4)	283	(78.4)	2638	(74.8)
記載なし／不明	308	(9.7)	27	(7.5)	335	(9.5)
合計	3164	(100)	361	(523)	3525	(100)
賃金規程						
なし	566	(17.9)	64	(17.7)	630	(17.9)
あり	2078	(65.7)	240	(66.5)	2318	(65.8)
記載なし／不明	520	(16.4)	57	(15.8)	577	(16.4)
合計	3164	(100)	361	(523)	3525	(100)
健康診断						
なし	647	(20.4)	107	(29.6)	754	(21.4)
あり	2212	(69.9)	233	(64.5)	2445	(69.4)
記載なし／不明	305	(9.6)	21	(5.8)	326	(9.2)
合計	3164	(100)	361	(523)	3525	(100)
面接指導						
なし	2458	(77.7)	297	(82.3)	2755	(78.2)
あり	62	(2.0)	4	(1.1)	66	(1.9)
記載なし／不明	644	(20.4)	60	(16.6)	704	(20.0)
合計	3164	(100)	361	(523)	3525	(100)
既往歴						
なし	1388	(43.9)	174	(48.2)	1562	(44.3)
あり	1369	(43.3)	149	(41.3)	1518	(43.1)
記載なし／不明	407	(12.9)	38	(10.5)	445	(12.6)
合計	3164	(100)	361	(523)	3525	(100)

表 1-4-1 年齢、業種、職種と決定時 6 疾患(全体) (業務上外、脳・心臓疾患)

	脳内出血 (脳出血)		くも膜下出血		脳梗塞		心筋梗塞		心停止 (心臓性突然死 を含む。)		解離性 大動脈瘤		合計	
	N	(%)	N	(%)	N	(%)	N	(%)	N	(%)	N	(%)	N	(%)
性別														
男	935	(87.5)	469	(78.7)	475	(92.4)	560	(97.9)	470	(95.7)	163	(91.6)	3072	(89.8)
女	134	(12.5)	127	(21.3)	39	(7.6)	12	(2.1)	21	(4.3)	15	(8.4)	348	(10.2)
合計	1069	(100)	596	(100)	514	(100)	572	(100)	491	(100)	178	(100)	3420	(100)
発症時年齢														
20-29歳	14	(1.3)	9	(1.5)	7	(1.4)	7	(1.2)	49	(10.0)	1	(0.6)	87	(2.5)
30-39歳	93	(8.7)	89	(14.9)	41	(8.0)	50	(8.7)	103	(21.0)	15	(8.4)	391	(11.4)
40-49歳	288	(26.9)	214	(35.9)	111	(21.6)	141	(24.7)	134	(27.3)	43	(24.2)	931	(27.2)
50-59歳	402	(37.6)	195	(32.7)	179	(34.8)	223	(39.0)	117	(23.8)	68	(38.2)	1184	(34.6)
60-69歳	237	(22.2)	81	(13.6)	152	(29.6)	140	(24.5)	76	(15.5)	42	(23.6)	728	(21.3)
70歳以上	35	(3.3)	8	(1.3)	24	(4.7)	11	(1.9)	12	(2.4)	9	(5.1)	99	(2.9)
合計	1069	(100)	596	(100)	514	(100)	572	(100)	491	(100)	178	(100)	3420	(100)
業種(大分類)														
運輸業、郵便業	216	(28.7)	123	(16.4)	118	(15.7)	171	(22.7)	83	(11.0)	41	(5.5)	752	(100)
卸売業・小売業	178	(34.3)	106	(20.4)	61	(11.8)	62	(11.9)	87	(16.8)	25	(4.8)	519	(100)
製造業	151	(32.9)	81	(17.6)	72	(15.7)	58	(12.6)	75	(16.3)	22	(4.8)	459	(100)
建設業	135	(28.8)	62	(13.2)	76	(16.2)	93	(19.9)	69	(14.7)	33	(7.1)	468	(100)
サービス業(他に分類されないもの)	102	(29.2)	52	(14.9)	68	(19.5)	60	(17.2)	46	(13.2)	21	(6.0)	349	(100)
宿泊業、飲食サービス業	64	(35.2)	44	(24.2)	18	(9.9)	25	(13.7)	21	(11.5)	10	(5.5)	182	(100)
情報通信業	24	(25.3)	19	(20.0)	14	(14.7)	10	(10.5)	24	(25.3)	4	(4.2)	95	(100)
医療、福祉	47	(28.1)	44	(26.3)	26	(15.6)	17	(10.2)	27	(16.2)	6	(3.6)	167	(100)
学術研究、専門・技術サービス業	32	(32.0)	17	(17.0)	15	(15.0)	20	(20.0)	10	(10.0)	6	(6.0)	100	(100)
生活関連サービス業、娯楽業	31	(39.7)	13	(16.7)	7	(9.0)	11	(14.1)	12	(15.4)	4	(5.1)	78	(100)
不動産業、物品賃貸業	23	(41.8)	7	(12.7)	7	(12.7)	8	(14.5)	10	(18.2)	0	(0.0)	55	(100)
教育、学習支援業	24	(41.4)	11	(19.0)	7	(12.1)	6	(10.3)	10	(17.2)	0	(0.0)	58	(100)
漁業	5	(17.9)	3	(10.7)	10	(35.7)	8	(28.6)	1	(3.6)	1	(3.6)	28	(100)
金融業・保険業	10	(33.3)	5	(16.7)	3	(10.0)	3	(10.0)	7	(23.3)	2	(6.7)	30	(100)
農業、林業	12	(42.9)	4	(14.3)	3	(10.7)	6	(21.4)	1	(3.6)	2	(7.1)	28	(100)
複合サービス事業	7	(35.0)	4	(20.0)	3	(15.0)	4	(20.0)	2	(10.0)	0	(0.0)	20	(100)
電気・ガス・熱供給・水道業	3	(37.5)	0	(0.0)	0	(0.0)	2	(25.0)	2	(25.0)	1	(12.5)	8	(100)
公務(他に分類されるものを除く)	2	(33.3)	0	(0.0)	0	(0.0)	4	(66.7)	0	(0.0)	0	(0.0)	6	(100)
分類不能の産業	0	(0.0)	0	(0.0)	2	(66.7)	0	(0.0)	1	(33.3)	0	(0.0)	3	(100)
鉱業、採石業、砂利採取業	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)
合計	1066	(31.3)	595	(17.5)	510	(15.0)	568	(16.7)	488	(14.3)	178	(5.2)	3405	(100)
職種(大分類)														
輸送・機械運転従事者	196	(29.8)	102	(15.5)	105	(16.0)	146	(22.2)	72	(10.9)	37	(5.6)	658	(100)
専門的・技術的職業従事者	129	(29.1)	81	(18.2)	63	(14.2)	64	(14.4)	87	(19.6)	20	(4.5)	444	(100)
販売従事者	121	(33.4)	77	(21.3)	44	(12.2)	41	(11.3)	61	(16.9)	18	(5.0)	362	(100)
サービス職業従事者	139	(35.5)	83	(21.2)	47	(12.0)	47	(12.0)	53	(13.6)	22	(5.6)	391	(100)
管理的職業従事者	69	(26.4)	48	(18.4)	37	(14.2)	52	(19.9)	36	(13.8)	19	(7.3)	261	(100)
事務従事者	113	(32.9)	75	(21.9)	39	(11.4)	48	(14.0)	57	(16.6)	11	(3.2)	343	(100)
生産工程従事者	85	(34.7)	44	(18.0)	37	(15.1)	26	(10.6)	39	(15.9)	14	(5.7)	245	(100)
建設・採掘従事者	92	(29.9)	35	(11.4)	51	(16.6)	69	(22.4)	43	(14.0)	18	(5.8)	308	(100)
保安職業従事者	34	(29.1)	9	(7.7)	31	(26.5)	27	(23.1)	9	(7.7)	7	(6.0)	117	(100)
運搬・清掃・包装等従事者	56	(37.8)	20	(13.5)	27	(18.2)	22	(14.9)	16	(10.8)	7	(4.7)	148	(100)
農林漁業従事者	18	(33.3)	7	(13.0)	13	(24.1)	10	(18.5)	3	(5.6)	3	(5.6)	54	(100)
運輸・通信従事者	5	(12.8)	8	(20.5)	8	(20.5)	12	(30.8)	6	(15.4)	0	(0.0)	39	(100)
生産工程・労務作業(1-1)	4	(33.3)	2	(16.7)	3	(25.0)	2	(16.7)	1	(8.3)	0	(0.0)	12	(100)
生産工程・労務作業(1-3)	5	(25.0)	4	(20.0)	4	(20.0)	1	(5.0)	4	(20.0)	2	(10.0)	20	(100)
生産工程・労務作業(1-2)	0	(0.0)	0	(0.0)	1	(50.0)	1	(50.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	2	(100)
分類不能の職業	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	1	(100.0)	0	(0.0)	1	(100)
合計	1066	(31.3)	595	(17.5)	510	(15.0)	568	(16.7)	488	(14.3)	178	(5.2)	3405	(100)

表 1-4-2 年齢、業種、職種と決定時 6 疾患(男性) (業務上外、脳・心臓疾患)

	脳内出血 (脳出血)		くも膜下出血		脳梗塞		心筋梗塞		心停止 (心臓性突然死 を含む。)		解離性 大動脈瘤		合計	
	N	(%)	N	(%)	N	(%)	N	(%)	N	(%)	N	(%)	N	(%)
発症時年齢														
20-29歳	13	(1.4)	7	(1.5)	4	(0.8)	6	(1.1)	44	(9.4)	1	(0.6)	75	(2.4)
30-39歳	81	(8.7)	71	(15.1)	38	(8.0)	48	(8.6)	102	(21.7)	15	(9.2)	355	(11.6)
40-49歳	264	(28.2)	183	(39.0)	99	(20.8)	139	(24.8)	128	(27.2)	43	(26.4)	856	(27.9)
50-59歳	351	(37.5)	154	(32.8)	175	(36.8)	219	(39.1)	113	(24.0)	63	(38.7)	1075	(35.0)
60-69歳	195	(20.9)	48	(10.2)	138	(29.1)	137	(24.5)	71	(15.1)	34	(20.9)	623	(20.3)
70歳以上	31	(3.3)	6	(1.3)	21	(4.4)	11	(2.0)	12	(2.6)	7	(4.3)	88	(2.9)
合計	935	(100)	469	(100)	475	(100)	560	(100)	470	(100)	163	(100)	3072	(100)
業種(大分類)														
運輸業、郵便業	213	(29.0)	112	(15.3)	118	(16.1)	170	(23.2)	82	(11.2)	39	(5.3)	734	(100)
卸売業・小売業	146	(33.0)	79	(17.8)	53	(12.0)	60	(13.5)	82	(18.5)	23	(5.2)	443	(100)
製造業	134	(31.5)	75	(17.6)	67	(15.8)	56	(13.2)	74	(17.4)	19	(4.5)	425	(100)
建設業	134	(28.9)	60	(12.9)	75	(16.2)	93	(20.0)	69	(14.9)	33	(7.1)	464	(100)
サービス業(他に分類されないもの)	91	(29.7)	39	(12.7)	60	(19.6)	59	(19.3)	40	(13.1)	17	(5.6)	306	(100)
宿泊業、飲食サービス業	48	(34.5)	25	(18.0)	13	(9.4)	24	(17.3)	20	(14.4)	9	(6.5)	139	(100)
情報通信業	20	(23.5)	15	(17.6)	14	(16.5)	10	(11.8)	22	(25.9)	4	(4.7)	85	(100)
医療、福祉	18	(20.5)	15	(17.0)	17	(19.3)	12	(13.6)	22	(25.0)	4	(4.5)	88	(100)
学術研究、専門・技術サービス業	30	(31.9)	13	(13.8)	15	(16.0)	20	(21.3)	10	(10.6)	6	(6.4)	94	(100)
生活関連サービス業、娯楽業	25	(37.9)	9	(13.6)	6	(9.1)	11	(16.7)	12	(18.2)	3	(4.5)	66	(100)
不動産業、物品賃貸業	22	(41.5)	6	(11.3)	7	(13.2)	8	(15.1)	10	(18.9)	0	(0.0)	53	(100)
教育、学習支援業	19	(39.6)	7	(14.6)	6	(12.5)	6	(12.5)	10	(20.8)	0	(0.0)	48	(100)
漁業	5	(17.9)	3	(10.7)	10	(35.7)	8	(28.6)	1	(3.6)	1	(3.6)	28	(100)
金融業・保険業	9	(32.1)	4	(14.3)	3	(10.7)	3	(10.7)	7	(25.0)	2	(7.1)	28	(100)
農業、林業	12	(44.4)	3	(11.1)	3	(11.1)	6	(22.2)	1	(3.7)	2	(7.4)	27	(100)
複合サービス事業	4	(23.5)	4	(23.5)	3	(17.6)	4	(23.5)	2	(11.8)	0	(0.0)	17	(100)
電気・ガス・熱供給・水道業	2	(28.6)	0	(0.0)	0	(0.0)	2	(28.6)	2	(28.6)	1	(14.3)	7	(100)
公務(他に分類されるものを除く)	1	(20.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	4	(80.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	5	(100)
分類不能の産業	0	(0.0)	0	(0.0)	2	(66.7)	0	(0.0)	1	(33.3)	0	(0.0)	3	(100)
鉱業、採石業、砂利採取業	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)
合計	933	(30.5)	469	(15.3)	472	(15.4)	556	(18.2)	467	(15.3)	163	(5.3)	3060	(100)
職種(大分類)														
輸送・機械運転従事者	195	(30.0)	99	(15.2)	105	(16.1)	146	(22.4)	71	(10.9)	35	(5.4)	651	(100)
専門的・技術的職業従事者	111	(28.0)	64	(16.1)	57	(14.4)	63	(15.9)	83	(20.9)	19	(4.8)	397	(100)
販売従事者	98	(31.9)	59	(19.2)	38	(12.4)	40	(13.0)	54	(17.6)	18	(5.9)	307	(100)
サービス職業従事者	96	(34.8)	37	(13.4)	36	(13.0)	42	(15.2)	49	(17.8)	16	(5.8)	276	(100)
管理的職業従事者	66	(26.1)	45	(17.8)	36	(14.2)	52	(20.6)	36	(14.2)	18	(7.1)	253	(100)
事務従事者	92	(31.7)	51	(17.6)	35	(12.1)	46	(15.9)	56	(19.3)	10	(3.4)	290	(100)
生産工程従事者	71	(32.6)	39	(17.9)	34	(15.6)	24	(11.0)	38	(17.4)	12	(5.5)	218	(100)
建設・採掘従事者	91	(29.7)	35	(11.4)	50	(16.3)	69	(22.5)	43	(14.1)	18	(5.9)	306	(100)
保安職業従事者	34	(29.3)	9	(7.8)	31	(26.7)	27	(23.3)	8	(6.9)	7	(6.0)	116	(100)
運搬・清掃・包装等従事者	47	(38.5)	12	(9.8)	22	(18.0)	21	(17.2)	15	(12.3)	5	(4.1)	122	(100)
農林漁業従事者	18	(34.0)	6	(11.3)	13	(24.5)	10	(18.9)	3	(5.7)	3	(5.7)	53	(100)
運輸・通信従事者	5	(12.8)	8	(20.5)	8	(20.5)	12	(30.8)	6	(15.4)	0	(0.0)	39	(100)
生産工程・労務作業(1-1)	4	(33.3)	2	(16.7)	3	(25.0)	2	(16.7)	1	(8.3)	0	(0.0)	12	(100)
生産工程・労務作業(1-3)	5	(29.4)	3	(17.6)	3	(17.6)	1	(5.9)	3	(17.6)	2	(11.8)	17	(100)
生産工程・労務作業(1-2)	0	(0.0)	0	(0.0)	1	(50.0)	1	(50.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	2	(100)
分類不能の職業	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	1	(100.0)	0	(0.0)	1	(100)
合計	933	(30.5)	469	(15.3)	472	(15.4)	556	(18.2)	467	(15.3)	163	(5.3)	3060	(100)

表 1-4-3 年齢、業種、職種と決定時 6 疾患(女性) (業務上外、脳・心臓疾患)

	脳内出血 (脳出血)		くも膜下出血		脳梗塞		心筋梗塞		心停止 (心臓性突然死 を含む。)		解離性 大動脈瘤		合計	
	N	(%)	N	(%)	N	(%)	N	(%)	N	(%)	N	(%)	N	(%)
発症時年齢														
20-29歳	1	(0.7)	2	(1.6)	3	(7.7)	1	(8.3)	5	(23.8)	0	(0.0)	12	(3.4)
30-39歳	12	(9.0)	18	(14.2)	3	(7.7)	2	(16.7)	1	(4.8)	0	(0.0)	36	(10.3)
40-49歳	24	(17.9)	31	(24.4)	12	(30.8)	2	(16.7)	6	(28.6)	0	(0.0)	75	(21.6)
50-59歳	51	(38.1)	41	(32.3)	4	(10.3)	4	(33.3)	4	(19.0)	5	(33.3)	109	(31.3)
60-69歳	42	(31.3)	33	(26.0)	14	(35.9)	3	(25.0)	5	(23.8)	8	(53.3)	105	(30.2)
70歳以上	4	(3.0)	2	(1.6)	3	(7.7)	0	(0.0)	0	(0.0)	2	(13.3)	11	(3.2)
合計	134	(100)	127	(100)	39	(100)	12	(100)	21	(100)	15	(100)	348	(100)
業種(大分類)														
運輸業, 郵便業	3	(16.7)	11	(61.1)	0	(0.0)	1	(5.6)	1	(5.6)	2	(11.1)	18	(100)
卸売業・小売業	32	(42.1)	27	(35.5)	8	(10.5)	2	(2.6)	5	(6.6)	2	(2.6)	76	(100)
製造業	17	(50.0)	6	(17.6)	5	(14.7)	2	(5.9)	1	(2.9)	3	(8.8)	34	(100)
建設業	1	(25.0)	2	(50.0)	1	(25.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	4	(100)
サービス業(他に分類されないもの)	11	(25.6)	13	(30.2)	8	(18.6)	1	(2.3)	6	(14.0)	4	(9.3)	43	(100)
宿泊業, 飲食サービス業	16	(37.2)	19	(44.2)	5	(11.6)	1	(2.3)	1	(2.3)	1	(2.3)	43	(100)
情報通信業	4	(40.0)	4	(40.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	2	(20.0)	0	(0.0)	10	(100)
医療, 福祉	29	(36.7)	29	(36.7)	9	(11.4)	5	(6.3)	5	(6.3)	2	(2.5)	79	(100)
学術研究, 専門・技術サービス業	2	(33.3)	4	(66.7)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	6	(100)
生活関連サービス業, 娯楽業	6	(50.0)	4	(33.3)	1	(8.3)	0	(0.0)	0	(0.0)	1	(8.3)	12	(100)
不動産業, 物品賃貸業	1	(50.0)	1	(50.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	2	(100)
教育, 学習支援業	5	(50.0)	4	(40.0)	1	(10.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	10	(100)
漁業	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(100)
金融業・保険業	1	(50.0)	1	(50.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	2	(100)
農業, 林業	0	(0.0)	1	(100.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	1	(100)
複合サービス事業	3	(100.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	3	(100)
電気・ガス・熱供給・水道業	1	(100.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	1	(100)
公務(他に分類されるものを除く)	1	(100.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	1	(100)
分類不能の産業	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(100)
鉱業, 採石業, 砂利採取業	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)
合計	133	(38.6)	126	(36.5)	38	(11.0)	12	(3.5)	21	(6.1)	15	(4.3)	345	(100)
職種(大分類)														
輸送・機械運転従事者	1	(14.3)	3	(42.9)	0	(0.0)	0	(0.0)	1	(14.3)	2	(28.6)	7	(100)
専門的・技術的職業従事者	18	(38.3)	17	(36.2)	6	(12.8)	1	(2.1)	4	(8.5)	1	(2.1)	47	(100)
販売従事者	23	(41.8)	18	(32.7)	6	(10.9)	1	(1.8)	7	(12.7)	0	(0.0)	55	(100)
サービス職業従事者	43	(37.4)	46	(40.0)	11	(9.6)	5	(4.3)	4	(3.5)	6	(5.2)	115	(100)
管理的職業従事者	3	(37.5)	3	(37.5)	1	(12.5)	0	(0.0)	0	(0.0)	1	(12.5)	8	(100)
事務従事者	21	(39.6)	24	(45.3)	4	(7.5)	2	(3.8)	1	(1.9)	1	(1.9)	53	(100)
生産工程従事者	14	(51.9)	5	(18.5)	3	(11.1)	2	(7.4)	1	(3.7)	2	(7.4)	27	(100)
建設・採掘従事者	1	(50.0)	0	(0.0)	1	(50.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	2	(100)
保安職業従事者	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	1	(100.0)	0	(0.0)	1	(100)
運搬・清掃・包装等従事者	9	(34.6)	8	(30.8)	5	(19.2)	1	(3.8)	1	(3.8)	2	(7.7)	26	(100)
農林漁業従事者	0	(0.0)	1	(100.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	1	(100)
運輸・通信従事者	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(100)
生産工程・労務作業(1-1)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(100)
生産工程・労務作業(1-3)	0	(0.0)	1	(33.3)	1	(33.3)	0	(0.0)	1	(33.3)	0	(0.0)	3	(100)
生産工程・労務作業(1-2)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(100)
分類不能の職業	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(100)
合計	133	(38.6)	126	(36.5)	38	(11.0)	12	(3.5)	21	(6.1)	15	(4.3)	345	(100)

表 1-5-1 健康診断と決定時 6 疾患（業務上外、脳・心臓疾患）

	健康診断(N=3,199)						p値
	なし		あり		合計		
	N	(%)	N	(%)	N	(%)	
脳内出血(脳出血)							
40代以下	76	(31.4%)	281	(26.3%)	357	(27.2%)	p=0.110
50代	89	(38.0%)	284	(33.0%)	373	(34.1%)	p=0.162
60代以上	106	(38.1%)	146	(28.3%)	252	(31.7%)	p=0.005
全年代	271	(35.9%)	711	(29.1%)	982	(30.7%)	p<0.001
<も膜下出血							
40代以下	49	(20.2%)	231	(21.6%)	280	(21.4%)	p=0.665
50代	28	(12.0%)	153	(17.8%)	181	(16.5%)	p=0.037
60代以上	19	(6.8%)	63	(12.2%)	82	(10.3%)	p=0.020
全年代	96	(12.7%)	447	(18.3%)	543	(17.0%)	p<0.001
脳梗塞							
40代以下	25	(10.3%)	115	(10.8%)	140	(10.7%)	p=0.909
50代	43	(18.4%)	116	(13.5%)	159	(14.5%)	p=0.075
60代以上	60	(21.6%)	106	(20.5%)	166	(20.9%)	p=0.784
全年代	128	(17.0%)	337	(13.8%)	465	(14.5%)	p=0.033
心筋梗塞							
40代以下	33	(13.6%)	146	(13.7%)	179	(13.7%)	p=1.000
50代	43	(18.4%)	157	(18.3%)	200	(18.3%)	p=1.000
60代以上	46	(16.5%)	99	(19.2%)	145	(18.3%)	p=0.387
全年代	122	(16.2%)	402	(16.4%)	524	(16.4%)	p=0.910
心停止(心臓性突然死を含む。)							
40代以下	44	(18.2%)	219	(20.5%)	263	(20.1%)	p=0.477
50代	18	(7.7%)	86	(10.0%)	104	(9.5%)	p=0.317
60代以上	27	(9.7%)	57	(11.0%)	84	(10.6%)	p=0.629
全年代	89	(11.8%)	362	(14.8%)	451	(14.1%)	p=0.042
解離性大動脈瘤							
40代以下	6	(2.5%)	50	(4.7%)	56	(4.3%)	p=0.158
50代	9	(3.8%)	53	(6.2%)	62	(5.7%)	p=0.203
60代以上	14	(5.0%)	32	(6.2%)	46	(5.8%)	p=0.633
全年代	29	(3.8%)	135	(5.5%)	164	(5.1%)	p=0.073

表 1-5-2 面接指導と決定時 6 疾患（業務上外、脳・心臓疾患）

	面接指導 (N=2,821)						p値
	なし		あり		合計		
	N	(%)	N	(%)	N	(%)	
脳内出血(脳出血)							
40代以下	309	(27.0%)	9	(25.0%)	318	(26.9%)	p=1.000
50代	326	(34.7%)	10	(45.5%)	336	(35.0%)	p=0.366
60代以上	214	(31.9%)	4	(50.0%)	218	(32.1%)	p=0.277
全年代	849	(30.8%)	23	(34.8%)	872	(30.9%)	p=0.501
<も膜下出血							
40代以下	237	(20.7%)	9	(25.0%)	246	(20.8%)	p=0.533
50代	157	(16.7%)	2	(9.1%)	159	(16.5%)	p=0.560
60代以上	74	(11.0%)	0	(0.0%)	74	(10.9%)	p=1.000
全年代	468	(17.0%)	11	(16.7%)	479	(17.0%)	p=1.000
脳梗塞							
40代以下	127	(11.1%)	2	(5.6%)	129	(10.9%)	p=0.419
50代	134	(14.3%)	2	(9.1%)	136	(14.2%)	p=0.757
60代以上	139	(20.7%)	2	(25.0%)	141	(20.8%)	p=0.674
全年代	400	(14.5%)	6	(9.1%)	406	(14.4%)	p=0.286
心筋梗塞							
40代以下	155	(13.5%)	9	(25.0%)	164	(13.9%)	p=0.080
50代	175	(18.6%)	3	(13.6%)	178	(18.5%)	p=0.782
60代以上	121	(18.0%)	1	(12.5%)	122	(18.0%)	p=1.000
全年代	451	(16.4%)	13	(19.7%)	464	(16.4%)	p=0.500
心停止(心臓性突然死を含む。)							
40代以下	233	(20.3%)	5	(13.9%)	238	(20.2%)	p=0.406
50代	91	(9.7%)	3	(13.6%)	94	(9.8%)	p=0.468
60代以上	66	(9.8%)	1	(12.5%)	67	(9.9%)	p=0.566
全年代	390	(14.2%)	9	(13.6%)	399	(14.1%)	p=1.000
解離性大動脈瘤							
40代以下	52	(4.5%)	2	(5.6%)	54	(4.6%)	p=0.678
50代	48	(5.1%)	2	(9.1%)	50	(5.2%)	p=0.319
60代以上	40	(6.0%)	0	(0.0%)	40	(5.9%)	p=1.000
全年代	140	(5.1%)	4	(6.1%)	144	(5.1%)	p=0.578

表 1-5-3 既往歴と決定時 6 疾患（業務上外、脳・心臓疾患）

	既往歴 (N=3,080)				p値	
	なし		あり			合計
	N	(%)	N	(%)		N (%)
脳内出血(脳出血)						
40代以下	181	(23.8%)	163	(32.1%)	344 (27.1%)	p=0.001
50代	168	(33.9%)	183	(33.2%)	351 (33.6%)	p=0.844
60代以上	111	(36.2%)	138	(30.1%)	249 (32.5%)	p=0.084
全年代	460	(29.4%)	484	(31.9%)	944 (30.6%)	p=0.148
くも膜下出血						
40代以下	181	(23.8%)	87	(17.1%)	268 (21.1%)	p=0.005
50代	109	(22.0%)	63	(11.4%)	172 (16.4%)	p<0.001
60代以上	43	(14.0%)	35	(7.6%)	78 (10.2%)	p=0.005
全年代	333	(21.3%)	185	(12.2%)	518 (16.8%)	p<0.001
脳梗塞						
40代以下	96	(12.6%)	45	(8.9%)	141 (11.1%)	p=0.036
50代	66	(13.3%)	89	(16.2%)	155 (14.8%)	p=0.222
60代以上	56	(18.2%)	106	(23.1%)	162 (21.1%)	p=0.125
全年代	218	(14.0%)	240	(15.8%)	458 (14.9%)	p=0.156
心筋梗塞						
40代以下	95	(12.5%)	78	(15.4%)	173 (13.6%)	p=0.156
50代	84	(17.0%)	110	(20.0%)	194 (18.5%)	p=0.232
60代以上	48	(15.6%)	87	(19.0%)	135 (17.6%)	p=0.247
全年代	227	(14.5%)	275	(18.1%)	502 (16.3%)	p=0.007
心停止(心臓性突然死を含む。)						
40代以下	158	(20.8%)	96	(18.9%)	254 (20.0%)	p=0.431
50代	50	(10.1%)	49	(8.9%)	99 (9.5%)	p=0.527
60代以上	27	(8.8%)	52	(11.3%)	79 (10.3%)	p=0.277
全年代	235	(15.0%)	197	(13.0%)	432 (14.0%)	p=0.108
解離性大動脈瘤						
40代以下	33	(4.3%)	19	(3.7%)	52 (4.1%)	p=0.666
50代	20	(4.0%)	41	(7.4%)	61 (5.8%)	p=0.024
60代以上	16	(5.2%)	30	(6.5%)	46 (6.0%)	p=0.536
全年代	69	(4.4%)	90	(5.9%)	159 (5.2%)	p=0.061

表 1-6 労働負荷と決定時 6 疾患（業務上外、脳・心臓疾患）

	労働負荷						p値
	なし		あり		合計		
	N	(%)	N	(%)	N	(%)	
発症前6か月の不規則な勤務(N=3378)							
脳内出血(脳出血)	944	(30.8%)	98	(31.2%)	1042	(30.8%)	p=0.898
くも膜下出血	532	(17.4%)	52	(16.6%)	584	(17.3%)	p=0.755
脳梗塞	444	(14.5%)	45	(14.3%)	489	(14.5%)	p=1.000
心筋梗塞	475	(15.5%)	71	(22.6%)	546	(16.2%)	p=0.002
心停止(心臓性突然死を含む。)	440	(14.4%)	32	(10.2%)	472	(14.0%)	p=0.049
解離性大動脈瘤	160	(5.2%)	11	(3.5%)	171	(5.1%)	p=0.223
発症前6か月の拘束時間の長い勤務(N=3378)							
脳内出血(脳出血)	834	(30.9%)	208	(30.6%)	1042	(30.8%)	p=0.889
くも膜下出血	473	(17.5%)	111	(16.3%)	584	(17.3%)	p=0.496
脳梗塞	394	(14.6%)	95	(14.0%)	489	(14.5%)	p=0.715
心筋梗塞	412	(15.3%)	134	(19.7%)	546	(16.2%)	p=0.006
心停止(心臓性突然死を含む。)	385	(14.3%)	87	(12.8%)	472	(14.0%)	p=0.353
解離性大動脈瘤	146	(5.4%)	25	(3.7%)	171	(5.1%)	p=0.077
発症前6か月の出張の多い業務(N=3369)							
脳内出血(脳出血)	961	(30.8%)	76	(30.4%)	1037	(30.8%)	p=0.943
くも膜下出血	540	(17.3%)	43	(17.2%)	583	(17.3%)	p=1.000
脳梗塞	457	(14.7%)	31	(12.4%)	488	(14.5%)	p=0.400
心筋梗塞	506	(16.2%)	39	(15.6%)	545	(16.2%)	p=0.859
心停止(心臓性突然死を含む。)	434	(13.9%)	37	(14.8%)	471	(14.0%)	p=0.705
解離性大動脈瘤	155	(5.0%)	16	(6.4%)	171	(5.1%)	p=0.296
発症前6か月の交代勤務・深夜勤務(N=3378)							
脳内出血(脳出血)	910	(31.2%)	132	(28.9%)	1042	(30.8%)	p=0.355
くも膜下出血	502	(17.2%)	82	(17.9%)	584	(17.3%)	p=0.690
脳梗塞	426	(14.6%)	63	(13.8%)	489	(14.5%)	p=0.721
心筋梗塞	460	(15.7%)	86	(18.8%)	546	(16.2%)	p=0.101
心停止(心臓性突然死を含む。)	413	(14.1%)	59	(12.9%)	472	(14.0%)	p=0.514
解離性大動脈瘤	153	(5.2%)	18	(3.9%)	171	(5.1%)	p=0.301
発症前6か月の作業環境(温度、騒音、時差)(N=3378)							
脳内出血(脳出血)	958	(30.8%)	84	(31.9%)	1042	(30.8%)	p=0.677
くも膜下出血	537	(17.2%)	47	(17.9%)	584	(17.3%)	p=0.799
脳梗塞	445	(14.3%)	44	(16.7%)	489	(14.5%)	p=0.274
心筋梗塞	510	(16.4%)	36	(13.7%)	546	(16.2%)	p=0.295
心停止(心臓性突然死を含む。)	441	(14.2%)	31	(11.8%)	472	(14.0%)	p=0.309
解離性大動脈瘤	157	(5.0%)	14	(5.3%)	171	(5.1%)	p=0.771
発症前6か月の精神的緊張を伴う業務(N=3378)							
脳内出血(脳出血)	934	(30.6%)	108	(32.7%)	1042	(30.8%)	p=0.452
くも膜下出血	529	(17.4%)	55	(16.7%)	584	(17.3%)	p=0.818
脳梗塞	440	(14.4%)	49	(14.8%)	489	(14.5%)	p=0.805
心筋梗塞	497	(16.3%)	49	(14.8%)	546	(16.2%)	p=0.529
心停止(心臓性突然死を含む。)	423	(13.9%)	49	(14.8%)	472	(14.0%)	p=0.616
解離性大動脈瘤	156	(5.1%)	15	(4.5%)	171	(5.1%)	p=0.791

表 2-1 事案の年齢分布、平均年齢（業務上外、精神事案）

	男性		女性		全体	
	n	(%)	n	(%)	n	(%)
事案数	2247	(63.4)	1296	(36.6)	3543	(100)
請求時年齢 (M, SD)	41.2	10.7	39.7	11.5	40.7	11.0
発病時年齢 (M, SD)	39.5	10.7	38.6	11.1	39.2	10.9
29歳以下	424	(19.4)	309	(24.2)	733	(21.2)
30-39歳	701	(32.1)	386	(30.2)	1087	(31.4)
40-49歳	660	(30.2)	367	(28.7)	1027	(29.7)
50-59歳	320	(14.7)	163	(12.8)	483	(14.0)
60-69歳	67	(3.1)	50	(3.9)	117	(3.4)
70歳以上	10	(0.5)	2	(0.2)	12	(0.3)
合計	2182	(100)	1277	(100)	3459	(100)
死亡時年齢 (M, SD)	40.4	11.7	33.5	12.0	39.8	11.8
29歳以下	106	(22.1)	20	(51.3)	126	(24.3)
30-39歳	125	(26.1)	8	(20.5)	133	(25.7)
40-49歳	136	(28.4)	6	(15.4)	142	(27.4)
50-59歳	93	(19.4)	4	(10.3)	97	(18.7)
60-69歳	12	(2.5)	1	(2.6)	13	(2.5)
70歳以上	7	(1.5)	0	(0.0)	7	(1.4)
合計	479	(100)	39	(100)	518	(100)

表 2-2 業種(大分類)、職種(大分類)(業務上外、精神事案)

	男性		女性		全体	
	n	(%)	n	(%)	n	(%)
業種(大分類)						
製造業	479	(21.3)	138	(10.7)	617	(17.4)
卸売業・小売業	343	(15.3)	212	(16.4)	555	(15.7)
医療, 福祉	135	(6.0)	384	(29.8)	519	(14.7)
運輸業, 郵便業	275	(12.2)	67	(5.2)	342	(9.7)
建設業	175	(7.8)	15	(1.2)	190	(5.4)
サービス業 (他に分類されないもの)	203	(9.0)	133	(10.3)	336	(9.5)
宿泊業, 飲食サービス業	88	(3.9)	60	(4.7)	148	(4.2)
情報通信業	149	(6.6)	50	(3.9)	199	(5.6)
学術研究, 専門・技術サービス業	106	(4.7)	41	(3.2)	147	(4.2)
教育, 学習支援業	48	(2.1)	50	(3.9)	98	(2.8)
金融業・保険業	66	(2.9)	46	(3.6)	112	(3.2)
不動産業, 物品賃貸業	59	(2.6)	21	(1.6)	80	(2.3)
生活関連サービス業, 娯楽業	43	(1.9)	42	(3.3)	85	(2.4)
農業, 林業	17	(0.8)	3	(0.2)	20	(0.6)
複合サービス事業	23	(1.0)	11	(0.9)	34	(1.0)
電気・ガス・熱供給・水道業	12	(0.5)	1	(0.1)	13	(0.4)
漁業	5	(0.2)	0	(0.0)	5	(0.1)
鉱業, 採石業, 砂利採取業	5	(0.2)	0	(0.0)	5	(0.1)
公務 (他に分類されるものを除く)	5	(0.2)	5	(0.4)	10	(0.3)
分類不能・不詳	10	(0.4)	11	(0.9)	21	(0.6)
合計	2246	(100)	1290	(100)	3536	(100)
職種(大分類)						
専門的・技術的職業従事者	468	(20.9)	334	(26.1)	802	(22.8)
事務従事者	482	(21.6)	421	(32.9)	903	(25.7)
販売従事者	256	(11.4)	147	(11.5)	403	(11.5)
サービス職業従事者	182	(8.1)	211	(16.5)	393	(11.2)
生産工程従事者	303	(13.6)	74	(5.8)	377	(10.7)
管理的職業従事者	141	(6.3)	23	(1.8)	164	(4.7)
輸送・機械運転従事者	178	(8.0)	23	(1.8)	201	(5.7)
建設・採掘従事者	105	(4.7)	1	(0.1)	106	(3.0)
運搬・清掃・包装等従事者	78	(3.5)	36	(2.8)	114	(3.2)
農林漁業従事者	19	(0.8)	2	(0.2)	21	(0.6)
保安職業従事者	23	(1.0)	7	(0.5)	30	(0.9)
分類不能・不詳	1	(0.0)	0	(0.0)	1	(0.0)
合計	2236	(100)	1279	(100)	3515	(100)

表 2-3-1 性・生存死亡別の精神障害（業務上外、精神事案）

	男性 (n=2247)				女性 (n=1296)			
	生存		死亡		生存		死亡	
	n	(%)	n	(%)	n	(%)	n	(%)
事案数	1766		481		1257		39	
発病時年齢 (M, SD)	39.4	10.5	40.2	11.7	38.7	11.0	33.8	12.8
疾患名								
F30-F39 : 気分[感情]障害	828	(46.9)	362	(75.3)	367	(29.2)	24	(61.5)
F30 躁病エピソード	3	(0.2)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)
F31 双極性感情障害	73	(4.1)	5	(1.0)	25	(2.0)	0	(0.0)
F32 うつ病エピソード	616	(34.9)	294	(61.1)	271	(21.6)	19	(48.7)
F33 反復性うつ病性障害	47	(2.7)	23	(4.8)	18	(1.4)	3	(7.7)
F34 持続性気分（感情）障害	28	(1.6)	7	(1.5)	15	(1.2)	0	(0.0)
F38 その他の気分（感情）障害	0	(0.0)	1	(0.2)	0	(0.0)	0	(0.0)
F39 詳細不明の気分（感情）障害	0	(0.0)	1	(0.2)	2	(0.2)	0	(0.0)
下位分類不明	61	(3.5)	31	(6.4)	36	(2.9)	2	(5.1)
F40-F48 : 神経症性障害, ストレス関連障害及び身体表現性障害	865	(49.0)	54	(11.2)	845	(67.2)	6	(15.4)
F40 恐怖症性不安障害	10	(0.6)	1	(0.2)	11	(0.9)	0	(0.0)
F41 その他の不安障害	86	(4.9)	2	(0.4)	84	(6.7)	0	(0.0)
F42 強迫性障害	5	(0.3)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)
F43 重度ストレスへの反応及び適応障害								
F43.0 急性ストレス反応	28	(1.6)	2	(0.4)	62	(4.9)	0	(0.0)
F43.1 心的外傷後ストレス障害	111	(6.3)	1	(0.2)	111	(8.8)	0	(0.0)
F43.2 適応障害	469	(26.6)	42	(8.7)	402	(32.0)	5	(12.8)
F43.8 その他の重度ストレス反応	3	(0.2)	0	(0.0)	4	(0.3)	1	(2.6)
F43.9 重度ストレス反応、詳細不明	1	(0.1)	0	(0.0)	3	(0.2)	0	(0.0)
F43以下の下位分類不明	34	(1.9)	5	(1.0)	49	(3.9)	0	(0.0)
F44 解離性（転換性）障害	23	(1.3)	0	(0.0)	11	(0.9)	0	(0.0)
F45 身体表現性障害	39	(2.2)	0	(0.0)	31	(2.5)	0	(0.0)
F48 その他の神経症性障害	6	(0.3)	0	(0.0)	7	(0.6)	0	(0.0)
下位分類不明	50	(2.8)	1	(0.2)	70	(5.6)	0	(0.0)
F2 : 統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	53	(3.0)	7	(1.5)	36	(2.9)	1	(2.6)
その他の疾患	11	(0.6)	4	(0.8)	6	(0.5)	2	(5.1)
発病なし	9	(0.5)	32	(6.7)	2	(0.2)	1	(2.6)
特定不能	0	(0.0)	22	(4.6)	1	(0.1)	5	(12.8)

表 2-3-2 性・請求時年齢別の精神障害（業務上外、精神事案）

	男性 (n=2247)				女性 (n=1296)			
	40歳未満		40歳以上		40歳未満		40歳以上	
	n	(%)	n	(%)	n	(%)	n	(%)
事案数	977		1270		644		652	
疾患名								
F30-F39：気分[感情]障害	487	(49.8)	703	(55.4)	168	(26.1)	223	(34.2)
F30 躁病エピソード	1	(0.1)	2	(0.2)	0	(0.0)	0	(0.0)
F31 双極性感情障害	30	(3.1)	48	(3.8)	11	(1.7)	14	(2.1)
F32 うつ病エピソード	392	(40.1)	518	(40.8)	119	(18.5)	171	(26.2)
F33 反復性うつ病性障害	15	(1.5)	55	(4.3)	9	(1.4)	12	(1.8)
F34 持続性気分（感情）障害	15	(1.5)	20	(1.6)	6	(0.9)	9	(1.4)
F38 その他の気分（感情）障害	0	(0.0)	1	(0.1)	0	(0.0)	0	(0.0)
F39 詳細不明の気分（感情）障害	1	(0.1)	0	(0.0)	2	(0.3)	0	(0.0)
下位分類不明	33	(3.4)	59	(4.6)	21	(3.3)	17	(2.6)
F40-F48：神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害	424	(43.4)	495	(39.0)	448	(69.6)	403	(61.8)
F40 恐怖症性不安障害	9	(0.9)	2	(0.2)	5	(0.8)	6	(0.9)
F41 その他の不安障害	24	(2.5)	64	(5.0)	44	(6.8)	40	(6.1)
F42 強迫性障害	3	(0.3)	2	(0.2)	0	(0.0)	0	(0.0)
F43 重度ストレスへの反応及び適応障害								
F43.0 急性ストレス反応	15	(1.5)	15	(1.2)	35	(5.4)	27	(4.1)
F43.1 心的外傷後ストレス障害	57	(5.8)	55	(4.3)	68	(10.6)	43	(6.6)
F43.2 適応障害	242	(24.8)	269	(21.2)	205	(31.8)	202	(31.0)
F43.8 その他の重度ストレス反応	1	(0.1)	2	(0.2)	3	(0.5)	2	(0.3)
F43.9 重度ストレス反応、詳細不明	1	(0.1)	0	(0.0)	3	(0.5)	0	(0.0)
F43以下の下位分類不明	21	(2.1)	18	(1.4)	28	(4.3)	21	(3.2)
F44 解離性（転換性）障害	16	(1.6)	7	(0.6)	7	(1.1)	4	(0.6)
F45 身体表現性障害	13	(1.3)	26	(2.0)	16	(2.5)	15	(2.3)
F48 その他の神経症性障害	3	(0.3)	3	(0.2)	4	(0.6)	3	(0.5)
下位分類不明	19	(1.9)	32	(2.5)	30	(4.7)	40	(6.1)
F2：統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	30	(3.1)	30	(2.4)	17	(2.6)	20	(3.1)
その他の疾患	4	(0.4)	11	(0.9)	4	(0.6)	4	(0.6)
発病なし	18	(1.8)	23	(1.8)	2	(0.3)	1	(0.2)
特定不能	14	(1.4)	8	(0.6)	5	(0.8)	1	(0.2)

表 2-4-1 性・生存死亡別の出来事（業務上外、精神事案）

		男性 (n=2247)		女性 (n=1296)	
		生存		死亡	
		n (%)	n (%)	n (%)	n (%)
事案数		1766	481	1257	39
特別な出来事					
	心理的負荷が極度のもの	59 (3.3)	6 (1.2)	59 (4.7)	0 (0.0)
	極度の長時間労働	70 (4.0)	42 (8.7)	10 (0.8)	0 (0.0)
	恒常的な長時間労働	224 (12.7)	98 (20.4)	62 (4.9)	1 (2.6)
出来事の種類	No.	具体的出来事			
①事故や災害の体験	1	(重度の) 病気やケガをした			
		208 (11.8)	11 (2.3)	121 (9.6)	0 (0.0)
	2	悲惨な事故や災害の体験、目撃をした			
		165 (9.3)	5 (1.0)	190 (15.1)	0 (0.0)
②仕事の失敗、過重な責任等の発生	3	業務に関連し、重大な人身事故、重大事故を起こした			
		23 (1.3)	4 (0.8)	14 (1.1)	0 (0.0)
	4	会社の経営に影響する等の重大な仕事上のミスをした			
		73 (4.1)	55 (11.4)	31 (2.5)	5 (12.8)
	5	会社で起きた事故・事件について、責任を問われた			
		39 (2.2)	20 (4.2)	10 (0.8)	0 (0.0)
	6	自分の関係する仕事で多額の損失等が生じた			
		13 (0.7)	15 (3.1)	3 (0.2)	0 (0.0)
	7	業務に関連し、違法行為を強要された			
		43 (2.4)	3 (0.6)	23 (1.8)	2 (5.1)
	8	達成困難なノルマが課された			
		73 (4.1)	38 (7.9)	27 (2.1)	4 (10.3)
	9	ノルマが達成できなかった			
		46 (2.6)	17 (3.5)	13 (1.0)	1 (2.6)
③仕事の量・質	10	新規事業の担当になった、会社の建て直しの担当になった			
		18 (1.0)	11 (2.3)	12 (1.0)	1 (2.6)
	11	顧客や取引先から無理な注文を受けた			
		22 (1.2)	13 (2.7)	6 (0.5)	0 (0.0)
	12	顧客や取引先からクレームを受けた			
		87 (4.9)	41 (8.5)	46 (3.7)	2 (5.1)
	13	大きな説明会や公式の場での発表を強いられた			
		11 (0.6)	1 (0.2)	3 (0.2)	0 (0.0)
	14	上司が不在になることにより、その代行を任された			
		12 (0.7)	7 (1.5)	7 (0.6)	0 (0.0)
	15	仕事内容・仕事量の(大きな)変化を生じさせる出来事があった			
		337 (19.1)	133 (27.7)	162 (12.9)	13 (33.3)
	16	1ヶ月に80時間以上の時間外労働を行った			
		150 (8.5)	65 (13.5)	41 (3.3)	2 (5.1)
17	2週間(12日)以上にわたって連続勤務を行った				
	128 (7.2)	48 (10.0)	28 (2.2)	0 (0.0)	
18	勤務形態に変化があった				
	25 (1.4)	5 (1.0)	13 (1.0)	3 (7.7)	
19	仕事のペース、活動の変化があった				
	14 (0.8)	5 (1.0)	12 (1.0)	0 (0.0)	
④役割・地位の変化等	20	退職を強要された			
		110 (6.2)	10 (2.1)	68 (5.4)	0 (0.0)
	21	配置転換があった			
		177 (10.0)	66 (13.7)	102 (8.1)	5 (12.8)
	22	転勤をした			
		41 (2.3)	23 (4.8)	6 (0.5)	0 (0.0)
	23	複数名で担当していた業務を1人で担当するようになった			
		21 (1.2)	9 (1.9)	19 (1.5)	0 (0.0)
	24	非正規社員であるとの理由により、仕事上の差別、不利益取り扱いを受けた			
	17 (1.0)	3 (0.6)	10 (0.8)	1 (2.6)	
25	自分の昇格・昇進があった				
	23 (1.3)	27 (5.6)	19 (1.5)	1 (2.6)	
26	部下が減った				
	13 (0.7)	8 (1.7)	7 (0.6)	0 (0.0)	
27	早期退職制度の対象となった				
	4 (0.2)	2 (0.4)	0 (0.0)	0 (0.0)	
28	非正規社員である自分の契約満了が迫った				
	9 (0.5)	0 (0.0)	10 (0.8)	0 (0.0)	
⑤対人関係	29	(ひどい) 嫌がらせ、いじめ、又は暴行を受けた			
		266 (15.1)	52 (10.8)	222 (17.7)	8 (20.5)
	30	上司とのトラブルがあった			
		549 (31.1)	114 (23.7)	435 (34.6)	16 (41.0)
	31	同僚とのトラブルがあった			
		110 (6.2)	13 (2.7)	127 (10.1)	9 (23.1)
	32	部下とのトラブルがあった			
		34 (1.9)	13 (2.7)	13 (1.0)	1 (2.6)
33	理解してくれていた人の異動があった				
	14 (0.8)	5 (1.0)	23 (1.8)	3 (7.7)	
34	上司が替わった				
	13 (0.7)	11 (2.3)	19 (1.5)	0 (0.0)	
35	同僚等の昇進・昇格があり、昇進で先を越された				
	10 (0.6)	4 (0.8)	3 (0.2)	0 (0.0)	
⑥セクシュアルハラスメント	36	セクシュアルハラスメントを受けた			
	7 (0.4)	1 (0.2)	184 (14.6)	3 (7.7)	

表 2-4-2 性・請求時年齢別の出来事（業務上外、精神事案）

		男性 (n=2247)		女性 (n=1296)		
		40歳未満	40歳以上	40歳未満	40歳以上	
		n (%)	n (%)	n (%)	n (%)	
事案数		977	1270	644	652	
特別な出来事						
	心理的負荷が極度のもの	31 (3.2)	34 (2.7)	40 (6.2)	19 (2.9)	
	極度の長時間労働	48 (4.9)	64 (5.0)	7 (1.1)	3 (0.5)	
	恒常的な長時間労働	146 (14.9)	176 (13.9)	34 (5.3)	29 (4.4)	
出来事の種類	No.	具体的出来事				
①事故や災害の体験	1 (重度の) 病気やケガをした	79 (8.1)	140 (11.0)	51 (7.9)	70 (10.7)	
	2 悲惨な事故や災害の体験、目撃をした	79 (8.1)	91 (7.2)	104 (16.1)	86 (13.2)	
②仕事の失敗、過重な責任等の発生	3 業務に関連し、重大な人身事故、重大事故を起こした	14 (1.4)	13 (1.0)	8 (1.2)	6 (0.9)	
	4 会社の経営に影響する等の重大な仕事上のミスをした	60 (6.1)	68 (5.4)	20 (3.1)	16 (2.5)	
	5 会社で起きた事故・事件について、責任を問われた	19 (1.9)	40 (3.1)	2 (0.3)	8 (1.2)	
	6 自分の関係する仕事で多額の損失等が生じた	6 (0.6)	22 (1.7)	2 (0.3)	1 (0.2)	
	7 業務に関連し、違法行為を強要された	19 (1.9)	27 (2.1)	14 (2.2)	11 (1.7)	
	8 達成困難なノルマが課された	52 (5.3)	59 (4.6)	18 (2.8)	13 (2.0)	
	9 ノルマが達成できなかった	33 (3.4)	30 (2.4)	6 (0.9)	8 (1.2)	
	10 新規事業の担当になった、会社の建て直しの担当になった	17 (1.7)	12 (0.9)	8 (1.2)	5 (0.8)	
	11 顧客や取引先から無理な注文を受けた	13 (1.3)	22 (1.7)	2 (0.3)	4 (0.6)	
	12 顧客や取引先からクレームを受けた	47 (4.8)	81 (6.4)	24 (3.7)	24 (3.7)	
	13 大きな説明会や公式の場での発表を強いられた	8 (0.8)	4 (0.3)	1 (0.2)	2 (0.3)	
	14 上司が不在になることにより、その代行を任された	8 (0.8)	11 (0.9)	3 (0.5)	4 (0.6)	
	③仕事の量・質	15 仕事内容・仕事量の(大きな)変化を生じさせる出来事があった	236 (24.2)	234 (18.4)	94 (14.6)	81 (12.4)
		16 1ヶ月に80時間以上の時間外労働を行った	101 (10.3)	114 (9.0)	22 (3.4)	21 (3.2)
17 2週間(12日)以上にわたって連続勤務を行った		87 (8.9)	89 (7.0)	12 (1.9)	16 (2.5)	
18 勤務形態に変化があった		15 (1.5)	15 (1.2)	7 (1.1)	9 (1.4)	
19 仕事のペース、活動の変化があった		7 (0.7)	12 (0.9)	6 (0.9)	6 (0.9)	
④役割・地位の変化等	20 退職を強要された	41 (4.2)	79 (6.2)	24 (3.7)	44 (6.7)	
	21 配置転換があった	94 (9.6)	149 (11.7)	44 (6.8)	63 (9.7)	
	22 転勤をした	31 (3.2)	33 (2.6)	4 (0.6)	2 (0.3)	
	23 複数名で担当していた業務を1人で担当するようになった	14 (1.4)	16 (1.3)	11 (1.7)	8 (1.2)	
	24 非正規社員であるとの理由により、仕事上の差別、不利益取り扱いを受けた	10 (1.0)	10 (0.8)	5 (0.8)	6 (0.9)	
	25 自分の昇格・昇進があった	24 (2.5)	26 (2.0)	14 (2.2)	6 (0.9)	
	26 部下が減った	5 (0.5)	16 (1.3)	5 (0.8)	2 (0.3)	
	27 早期退職制度の対象となった	0 (0.0)	6 (0.5)	0 (0.0)	0 (0.0)	
⑤対人関係	28 非正規社員である自分の契約満了が迫った	1 (0.1)	8 (0.6)	3 (0.5)	7 (1.1)	
	29 (ひどい) 嫌がらせ、いじめ、又は暴行を受けた	160 (16.4)	158 (12.4)	98 (15.2)	132 (20.2)	
	30 上司とのトラブルがあった	288 (29.5)	375 (29.5)	203 (31.5)	248 (38.0)	
	31 同僚とのトラブルがあった	56 (5.7)	67 (5.3)	61 (9.5)	75 (11.5)	
	32 部下とのトラブルがあった	15 (1.5)	32 (2.5)	4 (0.6)	10 (1.5)	
	33 理解してくれていた人の異動があった	10 (1.0)	9 (0.7)	15 (2.3)	11 (1.7)	
	34 上司が替わった	13 (1.3)	11 (0.9)	7 (1.1)	12 (1.8)	
	35 同僚等の昇進・昇格があり、昇進で先を越された	5 (0.5)	9 (0.7)	2 (0.3)	1 (0.2)	
	⑥セクシュアルハラスメント	36 セクシュアルハラスメントを受けた	7 (0.7)	1 (0.1)	121 (18.8)	66 (10.1)

表 2-5 疾患別の出来事のタイプ（業務上外、精神事案）

	疾患名(F3・F4)				疾患名(上位3疾患)					
	F3		F4		うつ病エピソード (F32)		適応障害 (F43.2)		PTSD (F43.1)	
	n	(%)	n	(%)	n	(%)	n	(%)	n	(%)
事案数	1581		1770		1200		918		223	
出来事のタイプ										
長時間労働関連の出来事	709	(44.8)	376	(21.2)	574	(47.8)	223	(24.3)	17	(7.6)
事故・災害関連の出来事	130	(8.2)	573	(32.4)	107	(8.9)	156	(17.0)	193	(86.5)
対人関係関連の出来事	279	(17.6)	401	(22.7)	219	(18.3)	249	(27.1)	21	(9.4)
自殺事案数	386		60		313		47		1	
出来事のタイプ										
長時間労働関連の出来事	231	(59.8)	19	(31.7)	191	(61.0)	15	(31.9)	0	(0.0)
事故・災害関連の出来事	16	(4.1)	4	(6.7)	14	(4.5)	2	(4.3)	0	(0.0)
対人関係関連の出来事	41	(10.6)	13	(21.7)	37	(11.8)	9	(19.1)	1	(100.0)

- ・長時間労働関連の出来事：極度の長時間労働、恒常的長時間労働、具体的出来事15「仕事内容・仕事量の（大きな）変化を生じさせる出来事があった」、または具体的出来事16「1か月に80時間以上の時間外労働を行った」のいずれかの出来事。
- ・事故・災害関連の出来事：心理的負荷が極度のもの、具体的出来事1「（重度の病気やケガ）」、出来事2「悲惨な事故や災害の体験、目撃」のいずれかの出来事。
- ・対人関係関連の出来事：具体的出来事29「（ひどい）嫌がらせ、いじめ、暴行」、出来事36「セクシュアルハラスメント」のいずれかの出来事。

表 2-6-1 疾患(F3 または F4)別の出来事と長時間労働関連の出来事(*1) (業務上外、精神事案)

事案数		疾患名(F3・F4)				
		F3		F4		
		出来事数 (%)	長時間 (%)(*2)	出来事数 (%)	長時間 (%)(*2)	
事案数		1581		1770		
特別な出来事						
心理的負荷が極度のもの		23 (1.5)	0 (0.0)	101 (5.7)	2 (2.0)	
極度の長時間労働		95 (6.0)	- (-)	26 (1.5)	- (-)	
恒常的な長時間労働		254 (16.1)	- (-)	124 (7.0)	- (-)	
出来事の種類	No.	具体的出来事				
①事故や災害の体験	1	(重度の) 病気やケガをした				
	2	悲惨な事故や災害の体験、目撃をした				
	3	業務に関連し、重大な人身事故、重大事故を起こした				
	4	会社の経営に影響する等の重大な仕事上のミスをした				
	5	会社で起きた事故・事件について、責任を問われた				
	6	自分の関係する仕事で多額の損失等が生じた				
	7	業務に関連し、違法行為を強要された				
	②仕事の失敗、過重な責任等の発生	8	達成困難なノルマが課された			
		9	ノルマが達成できなかった			
		10	新規事業の担当になった、会社の建て直しの担当になった			
		11	顧客や取引先から無理な注文を受けた			
		12	顧客や取引先からクレームを受けた			
		13	大きな説明会や公式の場での発表を強いられた			
		14	上司が不在になることにより、その代行を任された			
15	仕事内容・仕事量の(大きな)変化を生じさせる出来事があった					
16	1ヶ月に80時間以上の時間外労働を行った					
③仕事の量・質	17	2週間(12日)以上にわたって連続勤務を行った				
	18	勤務形態に変化があった				
	19	仕事のペース、活動の変化があった				
	20	退職を強要された				
	21	配置転換があった				
④役割・地位の変化等	22	転勤をした				
	23	複数名で担当していた業務を1人で担当するようになった				
	24	非正規社員であるとの理由により、仕事上の差別、不利益取り扱いを受けた				
	25	自分の昇格・昇進があった				
	26	部下が減った				
	27	早期退職制度の対象となった				
	28	非正規社員である自分の契約満了が迫った				
	29	(ひどい) 嫌がらせ、いじめ、又は暴行を受けた				
⑤対人関係	30	上司とのトラブルがあった				
	31	同僚とのトラブルがあった				
	32	部下とのトラブルがあった				
	33	理解してくれていた人の異動があった				
	34	上司が替わった				
	35	同僚等の昇進・昇格があり、昇進で先を越された				
⑥セクシュアルハラスメント	36	セクシュアルハラスメントを受けた				

長時間労働関連の出来事(*1)：極度の長時間労働、恒常的長時間労働、具体的出来事15「仕事内容・仕事量の(大きな)変化を生じさせる出来事があった」、または具体的出来事16「1ヶ月に80時間以上の時間外労働を行った」のいずれかの出来事。

長時間 (%)(*2)：出来事と共に長時間労働関連の出来事が認められた事案数(各々の出来事の事案数に占める割合)

表 2-6-2 疾患(上位3疾患)別の出来事と長時間労働関連の出来事(*1) (業務上外、精神事案)

事案数	疾患名(上位3疾患)							
	うつ病エピソード (F32)		適応障害 (F43.2)		PTSD (F43.1)			
	出来事数 (%)	長時間 (%)(*2)	出来事数 (%)	長時間 (%)(*2)	出来事数 (%)	長時間 (%)(*2)		
1200			918			223		
特別な出来事								
心理的負荷が極度のもの	21 (1.8)	0 (0.0)	16 (1.7)	1 (6.3)	58 (26.0)	0 (0.0)		
極度の長時間労働	77 (6.4)	- (-)	15 (1.6)	- (-)	1 (0.4)	- (-)		
恒常的な長時間労働	210 (17.5)	- (-)	64 (7.0)	- (-)	11 (4.9)	- (-)		
No.	具体的出来事							
1 (重度の) 病気やケガをした	74 (6.2)	15 (20.3)	89 (9.7)	8 (9.0)	65 (29.1)	5 (7.7)		
2 悲惨な事故や災害の体験、目撃をした	22 (1.8)	3 (13.6)	74 (8.1)	7 (9.5)	112 (50.2)	10 (8.9)		
3 業務に関連し、重大な人身事故、重大事故を起こした	14 (1.2)	5 (35.7)	12 (1.3)	5 (41.7)	2 (0.9)	0 (0.0)		
4 会社の経営に影響する等の重大な仕事上のミスをした	70 (5.8)	38 (54.3)	42 (4.6)	15 (35.7)	1 (0.4)	0 (0.0)		
5 会社で起きた事故・事件について、責任を問われた	38 (3.2)	20 (52.6)	16 (1.7)	9 (56.3)	2 (0.9)	0 (0.0)		
6 自分の関係する仕事で多額の損失等が生じた	20 (1.7)	10 (50.0)	5 (0.5)	2 (40.0)	1 (0.4)	0 (0.0)		
7 業務に関連し、違法行為を強要された	24 (2.0)	11 (45.8)	24 (2.6)	8 (33.3)	0 (0.0)	0 (0.0)		
8 達成困難なノルマが課された	65 (5.4)	33 (50.8)	35 (3.8)	17 (48.6)	0 (0.0)	0 (0.0)		
9 ノルマが達成できなかった	42 (3.5)	28 (66.7)	18 (2.0)	9 (50.0)	0 (0.0)	0 (0.0)		
10 新規事業の担当になった、会社の建て直しの担当になった	21 (1.8)	8 (38.1)	7 (0.8)	3 (42.9)	1 (0.4)	1 (100.0)		
11 顧客や取引先から無理な注文を受けた	23 (1.9)	13 (56.5)	9 (1.0)	5 (55.6)	1 (0.4)	1 (100.0)		
12 顧客や取引先からクレームを受けた	72 (6.0)	39 (54.2)	40 (4.4)	12 (30.0)	4 (1.8)	0 (0.0)		
13 大きな説明会や公式の場での発表を強いられた	6 (0.5)	1 (16.7)	2 (0.2)	1 (50.0)	0 (0.0)	0 (0.0)		
14 上司が不在になることにより、その代行を任された	9 (0.8)	7 (77.8)	8 (0.9)	2 (25.0)	0 (0.0)	0 (0.0)		
15 仕事内容・仕事量の(大きな)変化を生じさせる出来事があった	318 (26.5)	- (-)	146 (15.9)	- (-)	3 (1.3)	- (-)		
16 1ヶ月に80時間以上の時間外労働を行った	139 (11.6)	- (-)	38 (4.1)	- (-)	5 (2.2)	- (-)		
17 2週間(12日)以上にわたって連続勤務を行った	103 (8.6)	69 (67.0)	46 (5.0)	19 (41.3)	2 (0.9)	2 (100.0)		
18 勤務形態に変化があった	19 (1.6)	13 (68.4)	15 (1.6)	5 (33.3)	1 (0.4)	0 (0.0)		
19 仕事のペース、活動の変化があった	14 (1.2)	6 (42.9)	7 (0.8)	2 (28.6)	0 (0.0)	0 (0.0)		
20 退職を強要された	64 (5.3)	14 (21.9)	67 (7.3)	14 (20.9)	1 (0.4)	0 (0.0)		
21 配置転換があった	142 (11.8)	56 (39.4)	106 (11.5)	22 (20.8)	3 (1.3)	0 (0.0)		
22 転勤をした	36 (3.0)	17 (47.2)	10 (1.1)	3 (30.0)	1 (0.4)	1 (100.0)		
23 複数名で担当していた業務を1人で担当するようになった	17 (1.4)	10 (58.8)	14 (1.5)	8 (57.1)	0 (0.0)	0 (0.0)		
24 非正規社員である理由により、仕事上の差別、不利益取扱いを受けた	10 (0.8)	5 (50.0)	11 (1.2)	3 (27.3)	0 (0.0)	0 (0.0)		
25 自分の昇格・昇進があった	46 (3.8)	21 (45.7)	10 (1.1)	4 (40.0)	0 (0.0)	0 (0.0)		
26 部下が減った	15 (1.3)	12 (80.0)	6 (0.7)	1 (16.7)	0 (0.0)	0 (0.0)		
27 早期退職制度の対象となった	4 (0.3)	1 (25.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)		
28 非正規社員である自分の契約満了が迫った	5 (0.4)	0 (0.0)	8 (0.9)	2 (25.0)	0 (0.0)	0 (0.0)		
29 (ひどい) 嫌がらせ、いじめ、又は暴行を受けた	186 (15.5)	56 (30.1)	181 (19.7)	30 (16.6)	11 (4.9)	2 (18.2)		
30 上司とのトラブルがあった	390 (32.5)	170 (43.6)	401 (43.7)	89 (22.2)	4 (1.8)	1 (25.0)		
31 同僚とのトラブルがあった	87 (7.3)	30 (34.5)	86 (9.4)	18 (20.9)	2 (0.9)	1 (50.0)		
32 部下とのトラブルがあった	31 (2.6)	15 (48.4)	18 (2.0)	8 (44.4)	0 (0.0)	0 (0.0)		
33 理解してくれていた人の異動があった	17 (1.4)	12 (70.6)	14 (1.5)	5 (35.7)	1 (0.4)	0 (0.0)		
34 上司が替わった	16 (1.3)	12 (75.0)	10 (1.1)	4 (40.0)	1 (0.4)	0 (0.0)		
35 同僚等の昇進・昇格があり、昇進で先を越された	12 (1.0)	6 (50.0)	2 (0.2)	1 (50.0)	0 (0.0)	0 (0.0)		
36 セクシュアルハラスメントを受けた	39 (3.3)	10 (25.6)	81 (8.8)	13 (16.0)	12 (5.4)	0 (0.0)		

長時間労働関連の出来事 (*1) : 極度の長時間労働、恒常的長時間労働、具体的出来事15「仕事内容・仕事量の(大きな)変化を生じさせる出来事があった」、または具体的出来事16「1か月に80時間以上の時間外労働を行った」のいずれかの出来事。

長時間 (%)(*2) : 出来事と共に長時間労働関連の出来事が認められた事案数 (各々の出来事の事案数に占める割合)

出来事の種類は表2-6-1と同じ。

表 2-6-3 自殺事案における疾患 (F3 または F4) 別の出来事と長時間労働関連の出来事(*1)
(業務上外、精神事案)

事案数	疾患名(F3・F4)					
	F3		F4		長時間 (%)(*2)	
	出来事数 (%)	長時間 (%)(*2)	出来事数 (%)	長時間 (%)(*2)		
386			60			
特別な出来事						
心理的負荷が極度のもの	5 (1.3)	0 (0.0)	1 (1.7)	0 (0.0)		
極度の長時間労働	38 (9.8)	- (-)	4 (6.7)	- (-)		
恒常的な長時間労働	88 (22.8)	- (-)	7 (11.7)	- (-)		
出来事の種類 No.	具体的出来事					
①事故や災害 の体験	1 (重度の) 病気やケガをした	9 (2.3)	3 (33.3)	2 (3.3)	0 (0.0)	
	2 悲惨な事故や災害の体験、目撃をした	4 (1.0)	1 (25.0)	1 (1.7)	0 (0.0)	
	3 業務に関連し、重大な人身事故、重大事故を起こした	2 (0.5)	0 (0.0)	1 (1.7)	0 (0.0)	
	4 会社の経営に影響する等の重大な仕事上のミスをした	41 (10.6)	24 (58.5)	8 (13.3)	2 (25.0)	
	5 会社で起きた事故・事件について、責任を問われた	17 (4.4)	8 (47.1)	2 (3.3)	2 (100.0)	
	6 自分の関係する仕事で多額の損失等が生じた	15 (3.9)	8 (53.3)	0 (0.0)	0 (0.0)	
	7 業務に関連し、違法行為を強要された	2 (0.5)	2 (100.0)	1 (1.7)	0 (0.0)	
	②仕事の失敗、過重な責任等の発生	8 達成困難なノルマが課された	33 (8.5)	16 (48.5)	3 (5.0)	1 (33.3)
		9 ノルマが達成できなかった	14 (3.6)	13 (92.9)	1 (1.7)	1 (100.0)
		10 新規事業の担当になった、会社の建て直しの担当になった	12 (3.1)	4 (33.3)	0 (0.0)	0 (0.0)
		11 顧客や取引先から無理な注文を受けた	11 (2.8)	7 (63.6)	2 (3.3)	0 (0.0)
		12 顧客や取引先からクレームを受けた	36 (9.3)	19 (52.8)	4 (6.7)	1 (25.0)
		13 大きな説明会や公式の場での発表を強いられた	1 (0.3)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
		14 上司が不在になることにより、その代行を任された	4 (1.0)	4 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
③仕事の量・質	15 仕事内容・仕事量の (大きな) 変化を生じさせる出来事があった	122 (31.6)	- (-)	12 (20.0)	- (-)	
	16 1ヶ月に80時間以上の時間外労働を行った	49 (12.7)	- (-)	4 (6.7)	- (-)	
	17 2週間 (12日) 以上にわたって連続勤務を行った	41 (10.6)	30 (73.2)	4 (6.7)	2 (50.0)	
	18 勤務形態に変化があった	6 (1.6)	4 (66.7)	1 (1.7)	1 (100.0)	
	19 仕事のペース、活動の変化があった	5 (1.3)	2 (40.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	
	20 退職を強要された	7 (1.8)	3 (42.9)	1 (1.7)	0 (0.0)	
	21 配置転換があった	58 (15.0)	31 (53.4)	7 (11.7)	3 (42.9)	
④役割・地位の変化等	22 転勤をした	19 (4.9)	7 (36.8)	1 (1.7)	0 (0.0)	
	23 複数名で担当していた業務を1人で担当するようになった	9 (2.3)	6 (66.7)	0 (0.0)	0 (0.0)	
	24 非正規社員であるとの理由により、仕事上の差別、不利益取り扱いを受けた	4 (1.0)	2 (50.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	
	25 自分の昇格・昇進があった	23 (6.0)	8 (34.8)	2 (3.3)	0 (0.0)	
	26 部下が減った	7 (1.8)	4 (57.1)	0 (0.0)	0 (0.0)	
	27 早期退職制度の対象となった	2 (0.5)	1 (50.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	
	28 非正規社員である自分の契約満了が迫った	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	
⑤対人関係	29 (ひどい) 嫌がらせ、いじめ、又は暴行を受けた	40 (10.4)	17 (42.5)	12 (20.0)	4 (33.3)	
	30 上司とのトラブルがあった	97 (25.1)	56 (57.7)	20 (33.3)	4 (20.0)	
	31 同僚とのトラブルがあった	18 (4.7)	7 (38.9)	3 (5.0)	1 (33.3)	
	32 部下とのトラブルがあった	14 (3.6)	7 (50.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	
	33 理解してくれていた人の異動があった	6 (1.6)	5 (83.3)	2 (3.3)	0 (0.0)	
	34 上司が替わった	9 (2.3)	6 (66.7)	0 (0.0)	0 (0.0)	
	35 同僚等の昇進・昇格があり、昇進で先を越された	3 (0.8)	2 (66.7)	0 (0.0)	0 (0.0)	
⑥セクシュアルハラスメント	36 セクシュアルハラスメントを受けた	1 (0.3)	1 (100.0)	1 (1.7)	0 (0.0)	

長時間労働関連の出来事 (*1) : 極度の長時間労働、恒常的長時間労働、具体的出来事15「仕事内容・仕事量の (大きな) 変化を生じさせる出来事があった」、または具体的出来事16「1か月に80時間以上の時間外労働を行った」のいずれかの出来事。

長時間 (%) (*2) : 出来事と共に長時間労働関連の出来事が認められた事案数 (各々の出来事の事案数に占める割合)

表 2-6-4 自殺事案における疾患(上位3疾患)別の出来事と長時間労働関連の出来事(*1)
(業務上外、精神事案)

事案数	疾患名(上位3疾患)							
	うつ病エピソード (F32)		適応障害 (F43.2)		PTSD (F43.1)			
	出来事数 (%)	長時間 (%)(*2)	出来事数 (%)	長時間 (%)(*2)	出来事数 (%)	長時間 (%)(*2)	出来事数 (%)	長時間 (%)(*2)
事案数	313		47		1			
特別な出来事								
心理的負荷が極度のもの	5 (1.6)	0 (0.0)	1 (2.1)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
極度の長時間労働	28 (8.9)	- (-)	3 (6.4)	- (-)	0 (0.0)	- (-)	0 (0.0)	- (-)
恒常的な長時間労働	71 (22.7)	- (-)	4 (8.5)	- (-)	0 (0.0)	- (-)	0 (0.0)	- (-)
No.	具体的出来事							
1 (重度の) 病気やケガをした	8 (2.6)	3 (37.5)	1 (2.1)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
2 悲惨な事故や災害の体験、目撃をした	3 (1.0)	1 (33.3)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
3 業務に関連し、重大な人身事故、重大事故を起こした	2 (0.6)	0 (0.0)	1 (2.1)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
4 会社の経営に影響する等の重大な仕事上のミスをした	34 (10.9)	19 (55.9)	5 (10.6)	1 (20.0)	1 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
5 会社で起きた事故・事件について、責任を問われた	16 (5.1)	8 (50.0)	2 (4.3)	2 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
6 自分の関係する仕事で多額の損失等が生じた	13 (4.2)	7 (53.8)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
7 業務に関連し、違法行為を強要された	1 (0.3)	1 (100.0)	1 (2.1)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
8 達成困難なノルマが課された	28 (8.9)	16 (57.1)	3 (6.4)	1 (33.3)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
9 ノルマが達成できなかった	14 (4.5)	13 (92.9)	1 (2.1)	1 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
10 新規事業の担当になった、会社の建て直しの担当になった	9 (2.9)	3 (33.3)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
11 顧客や取引先から無理な注文を受けた	10 (3.2)	6 (60.0)	2 (4.3)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
12 顧客や取引先からクレームを受けた	29 (9.3)	17 (58.6)	4 (8.5)	1 (25.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
13 大きな説明会や公式の場での発表を強いられた	1 (0.3)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
14 上司が不在になることにより、その代行を任された	4 (1.3)	4 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
15 仕事内容・仕事量の(大きな)変化を生じさせる出来事があった	103 (32.9)	- (-)	11 (23.4)	- (-)	0 (0.0)	- (-)	0 (0.0)	- (-)
16 1ヶ月に80時間以上の時間外労働を行った	44 (14.1)	- (-)	3 (6.4)	- (-)	0 (0.0)	- (-)	0 (0.0)	- (-)
17 2週間(12日)以上にわたって連続勤務を行った	38 (12.1)	28 (73.7)	3 (6.4)	1 (33.3)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
18 勤務形態に変化があった	4 (1.3)	3 (75.0)	1 (2.1)	1 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
19 仕事のペース、活動の変化があった	5 (1.6)	2 (40.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
20 退職を強要された	7 (2.2)	3 (42.9)	1 (2.1)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
21 配置転換があった	45 (14.4)	26 (57.8)	6 (12.8)	3 (50.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
22 転勤をした	16 (5.1)	6 (37.5)	1 (2.1)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
23 複数名で担当していた業務を1人で担当するようになった	5 (1.6)	4 (80.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
24 非正規社員である理由により、仕事上の差別、不利益取り扱いを受けた	4 (1.3)	2 (50.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
25 自分の昇格・昇進があった	23 (7.3)	8 (34.8)	2 (4.3)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
26 部下が減った	7 (2.2)	4 (57.1)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
27 早期退職制度の対象となった	2 (0.6)	1 (50.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
28 非正規社員である自分の契約満了が迫った	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
29 (ひどい) 嫌がらせ、いじめ、又は暴行を受けた	36 (11.5)	16 (44.4)	8 (17.0)	3 (37.5)	1 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
30 上司とのトラブルがあった	83 (26.5)	49 (59.0)	20 (42.6)	4 (20.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
31 同僚とのトラブルがあった	14 (4.5)	6 (42.9)	3 (6.4)	1 (33.3)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
32 部下とのトラブルがあった	12 (3.8)	6 (50.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
33 理解してくれていた人の異動があった	4 (1.3)	4 (100.0)	2 (4.3)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
34 上司が替わった	5 (1.6)	5 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
35 同僚等の昇進・昇格があり、昇進で先を越された	3 (1.0)	2 (66.7)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
36 セクシュアルハラスメントを受けた	1 (0.3)	1 (100.0)	1 (2.1)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)

長時間労働関連の出来事(*1)：極度の長時間労働、恒常的長時間労働、具体的出来事15「仕事内容・仕事量の(大きな)変化を生じさせる出来事があった」、または具体的出来事16「1か月に80時間以上の時間外労働を行った」のいずれかの出来事。

長時間(*)(*2)：出来事と共に長時間労働関連の出来事が認められた事案数(各々の出来事の事案数に占める割合)

出来事の類型は表2-6-3と同じ。